國際經濟週報

新聞聯合社發行

329 (No. 613) 第十二卷 第四十一號 昭和六年十月廿一日發行

(大正九年十月九日第三種郵便物認可 毎週一回土曜日發行)

(本號所掲電報＝昭和六年十月十一日——十七日迄發信)

國際決濟銀行理事會開會

バーゼル 十月十一日(日)

國際決濟銀行理事たる名國中央銀行の理事は今夜非公式に第一回豫備會議を開き、前後凡そ四時間に亘りボンド安定策を中心に刻下の世界經濟問題に關し鳩首凝議を遂げた。本日の會議に於てはアメリカより特に派遣されたニューヨーク聯邦準備銀行副總裁バーヂエス博士は自國現在の經濟事情を縷述し、次でイングランド銀行總裁ノーマン氏はアメリカ、フランス兩國が世界の金の大半を貯藏してゐる事實に言及し且つ總選擧終了まではボンド價の安定を期し難き旨を力說した。尚明日よりの公式會議に於てはボンド價の變動を妨止するため何等かの手段が講ぜられるものとみられてゐる。

對獨クレヂット三ケ月猶豫

ベルリン 十月十二日(月)

公報によれば國際決濟銀行は同銀行がライヒス●バンクに與へた十月四日滿期の二千五百萬ドル(五千萬圓)のクレヂットを更に三ケ月間延期するに決した。

尚また國際決濟銀行はイングランド銀行、フランス銀行及びアメリカ聯邦準備銀行が夫々同時にライヒス●バンクに與へた多額のクレヂットを同樣猶豫する樣交渉する筈であると。

中歐各國銀行代表招致

バーゼル 十月十二日(月)

國際決濟銀行理事會は一般的金融問題に關し長時間討議をなした後今夕刻會議を終了したが、今後に於ける國際經濟問題の進展に關しては一般に樂觀的意見が行はれてゐる。

右會議の結果國際決濟銀行はドイツ●ライヒスバンク、オーストリー銀行及びユーゴースラヴィア銀行の現存クレヂットを更新するに決した。又最近爲替の賣買を制限せる中歐及びバルカン諸國の代表をバーセルに招致して會議を開くことになつた。右會議の目的は爲替賣買制限により各國相互に蒙る不便を緩和せんが爲めである。

アメリカの金流出 五億八千八百萬ドル

ニューヨーク 十月十五日(木)

ニューヨーク聯邦準備銀行が別電の如く矢繼早やに利上げせるはアメリカの金大流出防止のためであると見られてゐるが、アメリカの金流出は九月廿日のイギリス金本位停止以來合計五億五千萬ドルに上る。而して準銀の大々的利上げ、若しくは何等かの對策を施さなければ今後なほどれだけの金が流出するか、甚だ不安を釀してゐる。

最近某一流銀行家が述べた所によると、アメリカは十億ドルの金を喪失するも何等影響はない。而しその後の流通は增加してゐるからこれで止まるか何うか疑問である。

金流出の原因とも見られるべきはワシントン及びニューヨークからの最近の半官的報道によれば外國特にヨーロッパに於てはアメリカが金本位を停止すべしとのセンセイショナルな根據なき風說が最近傳へられた事である。然し乍らアメリカはなほ四十五億ドル以上の金を保有し、アメリカの通貨の九割に當る準備を有して居り、アメリカの通貨は世界に於て最も强固なものである。

ウォール街の某々一流銀行家が本日發表した所によればアメリカは買ひ手が支拂ひ得る以上、どれだけでも金を賣り續けることが出來ると。

最近三日間の金流出狀態

ニューヨーク 十月十五日(木)

本日發表ニューヨーク聯邦準備銀行日報によれば左の如き巨額の金輸出があつた。

フランスへ	九、九八五千ドル
オランダへ	四、四四七
ベルギーへ	二、四九四
スイスへ	二六八
ポーランドへ	三
計	一七、二二六

ニューヨーク 十月十六日(金)

本日のニューヨーク聯邦準備銀行の日報によれば更に左の如き巨額の金輸出があつた。

△輸出	
フランスへ	二七、三四八千ドル
スイスへ	一〇、三三六
オランダへ	四、五四五
ドイツへ	一四〇
計	三二、三六九
△輸入	
カナダより	一、三三五

一方イヤーマーク分は七十三萬二千ドル減少した。なほ昨日のオランダ向輸出は既報の四百四十四萬七千ドルの外に二百十一萬二千ドルを算したと。

ニューヨーク 十月十七日(土)

ニューヨーク聯邦準備銀行日報によれば本日更に左の如く金輸出が行はれた。

フランスへ	六、五六七千ドル
スイスへ	七〇
メキシコへ	一〇

一方イヤーマーク分は本日九百七十萬ドル增加した。なほ昨日の金輸出は既報の外に左の追加が本日發表された(單位千ドル)

	追加
フランスへ	四〇〇
スイスへ	一〇
オランダへ	三、二三六
ドイツへ	一
ポーランドへ	二六
ベルギーへ	一五
イタリーへ	一四
計	三、七〇二

ドイツの金準備率減少

ハンブルグ 十月十六日(金)

ドイツ財界の引續く惡化のため首相は十三日議會に於て經濟諮問機關を設けて速に幣制維持方法、短期外債償還方法その他の經濟的財源、財界救濟問題を審議解決する旨聲明したが、之に對しては何等具體的施設發表なきため當地新聞中には不滿の意を洩らしてゐるものもある。

ドイツ貿易は最近輸入減の結果毎月顯著なるに拘らず中央銀行の金爲替準備は外國側マーク預金引出し、輸出筋の外國貨兩換等によつてその後更に減少したゝめ政府は更に新法令を以て先の二百マーク以上の外國貨、對外債權を中央銀行に通知すること(要求ある場合は賣り渡す)を强制し、且つ九日以後一ケ月間の貿易のためにする外國貨支拂を總括的許容額を各證書に定む

る定額に制限せんとしたが、中央銀行は同規定運用確保のためこれに違反する一切の銀行に對し將來輸出を拒否する旨十三日附制定し、且つ國內銀行の外國貨當座勘定防止禁止を斷行した由である。

仍つて右各法令は今後のドイツ貿易に關しボンド貨の下落と相俟つて遠からず影響すべしと爲すもの多く右の外信用梗塞の商工業に對する影響。外國マーク預金引出、海外利拂により今後豫期し得べき外國爲替の喪失政局不安等に鑑み兌換制の前途を憂慮するものあり。

アメリカの赤字十億圓

ワシントン 十月十五日(木)

目下アメリカに於ては金流出が注意を惹いてゐる一方、政府の歲入不足の前途に就ても著しく不安がある。

大藏省の發表によれば本年七月以降十月中旬迄三ケ月半の間に於ける歲入不足は合計五億二百萬ドルに上り昨年同期に比し四億八千五百萬ドルの激增を示してゐる。之は歲出增加と歲入激減の結果である。この大々的赤字を政府はどうして埋めんとしてゐるか、不明であるが果して增稅を避け得るかどうか、消息通間で疑問視してゐる。然し孰れにしても議會が十二月に再會する迄には何等の決定を見ないであらう。

他方政府は十二月に滿期に達する九億九千萬ドルの公債及び來年三月滿期の七億ドルの公債に對しても何等かの方法を講じなければならない立場に在る。これ等の滿期公債に對して如何なる方策を執らんとするか、大藏省當局は豫言を避けてゐるが、一般にはこの爲めに長期公期の發行を爲すものと觀てゐる。

スペイン共和國 ザモラ內閣の辭職

マドリッド 十月十四日(水)

本年四月スペイン共和國成立以來首相の責任を帶びて新スペインの建設に努力して來たアルカラ●ザモラ氏は本日遂に辭職したが、直ちに前陸相マヌエルアザナ氏を首班とする新內閣が成立した。外相レルー氏以下大部分留任。

國別索引

毎號連載 事項省略

米國
金の流出五億八千八百萬ドル……三二九
十億圓の赤字……三二九
九月中の貿易額……三三〇
地方銀行の休業續出……三三〇
ニューヨーク準銀の再利上……三三〇
ボストン準銀の利上……三三〇
シカゴ準銀の利上……三三〇
東洋向利付爲替手形利率引上……三三一
九月中の金銀塊輸出入額……三三一
九月中の銅統計……三三一
九月中の米棉統計……三三四
九月中の米棉消費豫想……三三四
九月中の綿布統計……三三四
九月中のゴム需給統計……三三五
米國汽船船舶院の船を共同經營……三三六
八月中の對支輸出高……三三六
亞爾然丁—爲替思惑を取締る……三三一
九月中の貿易額……三三〇
失業者の減退……三三〇
九月中の銀塊輸出入高……三三一
九月中の鋼鐵生產高……三三一
九月中の對日鐵類輸出高……三三一
九月中の綿糸布輸出高……三三四
九月中の對日紡織機械輸出高……三三四
ランカシア聯盟理事會を注視……三三四
九月中の對日生糸、絹織物輸入高……三三五
九月中の砂糖消費高……三三五
九月中の對支主要商品輸出高……三三六
英國
金獨
金の準備率減少……三三九
九月中の貿易額……三三〇
九月中の鐵鋼生產高……三三一
西班牙—ザモラ內閣の辭職……三三九
諾威—國立銀行の利下……三三〇
瑞典—國立銀行の利下……三三〇
フィンランド—金本位制停止……三三一
佛國—ラヴアール氏の訪米……三三〇
南阿
聯邦の金本位制廢棄を延期……三三一
兩ローデシア金本位制停止……三三一
埃及—九月中のエヂプト棉繰上高……三三四
印度—九月末卸賣物價指數……三三六
瓜哇
九月中のジヤワ糖輸出高……三三五
自五月至九月ジヤワ糖荷動統計……三三五
支那
北滿金融界の大動搖……三三〇
東三省官銀號の開業決定……三三〇
國際
國際決濟銀行理事會開會……三三九

A1 7

（昭和六年十月十一日——十七日發信）

フランス首相 ラヴアール氏の訪米

パリ 十月十四日(水)

近くワシントンを訪問すべきフランス首相ラヴアール氏は出發を前にして本日同氏のために開かれた晝餐會の席上來るべきフーヴアー大統領との會談の內容につき左の如く語つた。

余が今回の渡米はフーヴアー大統領と會議を行ふためではない。現下の世界的諸問題について非公式に談合し樣といふのである。吾々がこれから取扱はんとする問題は極めて重大なものではあるが、然しこれがために必要な解決に到達し得ないとは余は考へない。吾々の目的は啻に米佛兩國の共通利益を擁護するのみならず更に吾々の古き文化を保全せんとするにある。

アメリカ 九月中の貿易額

ワシントン 十月十六日(金)

アメリカ商務省の發表によれば、同國九月中の輸入高は一億七千百萬ドル輸出高は一億八千百萬ドルで、輸出入差引一千萬ドルの出超を示した。アメリカの貿易は前月輸出入共減少し、百萬ドルの入超を示したが、九月にはこれを取戻して再び出超に復した譯である。

本年一月から九月迄の累計を昨年同期に較べると(單位百萬ドル)

	昨年	本年
輸入	二、四〇一	一、六二〇
輸出	二、九五四	一、八四五
出超	五五三	二二五

即ち輸入三割三分減、輸出三割八分減、出超五割九分減である。昨年九月及び本年一月以降毎月の輸出入額は左の通り。(單位百萬ドル)

	輸入	輸出	出超
昨年九月	二二六	三二二	八六
本年一月	一八三	二五〇	六七
二月	一七五	二二四	四九
三月	二一〇	二三六	二六
四月	一八六	二一五	二九
五月	一八〇	二〇四	二四
六月	一七四	一八七	一三
七月	一七五	一八三	八
八月	一六六	一六五	一(入超)
九月	一七一	一六一	一〇

イギリス 九月中の貿易額

ロンドン 十月十二日(月)

イギリス商務省は本日本年九月中の同國貿易額を發表したが、金本位停止の影響と見るべきものは未だ輕微である。本年九月中の輸入額は六千八百三十一萬八千ポンドで、前月に比し三百〇五萬七千ポンドの增加を示した。これに對し輸出額は三千三百六十萬七千ポンドで、前月に比し六十二萬ポンド增加した。輸出入の差引は三千四百七十一萬一千ポンドの入超で、輸入の增加率が大きいため入超額は前月に比し二百四十三萬七千ポンドの增加を示した。

本年一月から九月までの累計を昨年同期と較べるに左の通り。(單位千ポンド)

	昨年	本年
輸入	七八五、四九五	六三一、九〇三
輸出	五〇八、七九四	三三七、六四七
入超	二七六、七〇一	二九四、二五五

即ち本年は輸入二割一分減、輸出三割四分減である。入超額は三分の增加を見てゐる。

昨年九月及び本年一月以降毎月の輸出入額は左の通り。(單位千ポンド)

	輸入	輸出	入超
昨年九月	七八、六五二	四八、一三四	三〇、五一八
本年一月	七五、五七〇	四三、六〇一	三一、九六九
二月	六三、六四七	三七、六四七	二六、〇〇一
三月	七〇、六六五	三九、四二八	三一、二三七
四月	七〇、〇一〇	三九、〇七二	三〇、九四八
五月	六九、六三三	三九、六四二	二九、九九一
六月	六八、六四二	三五、四七六	三三、一六六
七月	七〇、一四六	三六、一八八	三三、九五八
八月	六五、二六一	三三、九八七	三一、二七四
九月	六八、三一八	三三、六〇七	三四、七一一

ドイツ 九月中の貿易額

ベルリン 十月十五日(木)

ドイツ聯邦統計局發表によれば本年九月中のドイツ貿易額は輸入四億四千八百萬マルク、輸出八億三千五百萬マルクで、差引三億八千七百萬マルクの出超である。

これを八月中の輸出入額に比べると輸入は六百萬マルクの減少を見たるに反し輸出は三千二百萬マルクの增加を示して稍々貿易好轉を物語つてゐる。

本年一月から九月迄九ケ月間の累計を昨年同期に比較すれば左の通り。(單位百萬マルク)

	本年	昨年
輸入	五、二七〇	八、一四四
輸出	七、二三三	九、一三九
出超	一、九六三	九八五

即ち輸入は三割五分の減少、輸出は二割一分の各減少である。出超額は昨年同期の約二倍である。最近毎月の輸出入額は左の通り(單位百萬マルク)

	輸入	輸出	出超
昨年九月	七三六	一、〇〇一	二六五
本年七月	五六三	八二七	二六四
八月	四五四	八〇三	三四九
九月	四四八	八三五	三八七

イギリスの失業者減退

ロンドン 十月十六日(金)

イギリスの失業者は昨年來毎月漸增の傾向にあつたが、十月上旬現在に於てはその傾向を阻止され、九月上旬に比べ三萬三千人を減少して二百七十九萬人となつた。右は綿業界の活況もその一因であるが、主として石炭需要期の影響による所多い。

株式・金融

ニューヨーク株式市況

ニューヨーク 十月十七日(土)

市場は初め軟弱、フーヴアー大統領の金融案發表に伴ふ相場の騰貴は半ば喪失した。然しその後政府は更に鐵道社債の下落救濟策を近く發表せんとしてゐるとの報道により市況は再び見直した。且つ鐵道會社の運賃引上げ許可要請に對する州際商業委員の決定も有利に行はるべしとウォール街では見られ好感を與へてゐる。尤も高値には利喰ひ賣りが現はれたが、然し安値には取引減退してゐる。これは好材料と觀られてゐる。株式仲買貸付高は今週更に七千三百萬ドル減少、總額九億二千八百萬ドルとなつた。これは一九二一年以來の最少額である。ニューヨーク聯邦準備銀行は今週更に一分方利上げしたが、これは銀行界では寧ろ建設的であると解してゐる。何故ならば右の結果個人の資金蓄積の傾向を阻止する事になるものと見られるからである。なほ右利上げに連れ銀行預金利率、一流銀行引受手形割引率及びコールマネーは一齊に急騰した。

債券市場は一般に稍閑散。內地政府公債は引弛。最近日本債券には多額の賣り物が注がれてゐるが、これは日支關係紛糾のためである。

ロンドン株式市況

ロンドン 十月十五日(木)

內外の情勢不良で取引は局限せられ市場は稍々不定である。優等證券額はポンド爲替の動きに連れて小浮動を見せた。インド公債及び外國證券も區々を呈してゐる。日本公社債及び支那公債は滿洲事變の險惡化と共に初め激落したが、其後稍々見直した。然し氣配は依然として頗る落付かない。

工業株も下押したが、底意は頗る手堅い。ケーブルス・ワイヤレス株は關稅引上げ見越して底意頗る手堅くなつた。石油株は依然として强調を呈してゐるが、然し取引は不活潑である。ゴム株には稍々買氣が動いてゐる。

ロンドン金融市況

ロンドン 十月十五日(木)

資金の供給は相當豐富で、時々供給過剩を來した。

手形割引市場は閑散。然し需要は依然として國庫證券に注がれてゐる。

ロンドン公社債相場

(日本公社債額面百ポンドに付)

十月十二日	磅	十五日	磅
第一回英貨公債四歩	五八・		五八・
第三回同四・	五三・		五三・二分一
五分利付同五・	七〇・		七〇・
六分利付同六・	八六・二分一		八六・
五分半利付同五・半	一〇三・二分一		一〇四・二分一
第四回滿鐵社債四・半	八二・		八二・二分一
第十九回同五・	七二・二分一		七七・
東京市事業公債五・	九二・		九二・
同新英貨公債五・半	八〇・二分一		七六・二分一
同電氣事業公債五・	五八・		五五・
大阪市電鐵水道同五・	六八—八七・二分一		六五—八七・二分一
東京電燈新社債六・	八五・		八二・
第十三回興銀社債五・	九〇・二分一		九〇・二分一

ドイツ公債相場

(ロンドンに於けるドイツ七分利付公債)

十月十二日	五九磅	十六日	六〇磅
十四日	五八・	十七日	六三・
十五日	五七・二分一		

北滿金融界大動搖

ハルビン 十月十二日(月)

錦州政府爆擊チチハル政情不安などに基因する今朝來の當地金融界大動搖でハルピン大洋は大暴落を續け、午後二時大洋百元對金二十五圓と激落し、二時半遂に立會停止となつた。原因はナショナルシチーバンクなどの銀投賣りによる。なほ黑龍江官銀號は十二日遂に支拂を停止した。

日本外貨債崩落

ロンドン 十月十三日(火)

ロンドンに於る日本公社債も昨十二日一齊に崩落を見せてゐるが、これは全く滿洲の形勢が案ぜられるためで、當業者は右が如何になり行くかを懸念し、警戒的に賣つてゐるのである。然し乍ら格別賣り物當みといふ程のことはなく、たゞ神經過敏となつた一部の手持筋の賣り物が出てゐるだけである。取引は相當多量に上つてゐる。日本公社債の將來は一に滿洲問題の進展如何に懸つてゐるが、然し形勢好轉すれば相場は急速に回復するものと觀られてゐる。

アメリカの地方銀行休業續出

ニューヨーク 十月十五日(木)

本日オハイオ州ヤングスタウンのシチー・トラスト・アンド・セーヴイング・バンク(City Trust and Savings Bank)及びダラー・セーヴイング・アント・トラスト・カンパニー(Dollar Savings and Trust Company)は休業を發表し、又ファースト・ナショナル・バンクも一時營業開始後直ちに休業した。この結果同市は一時無銀行の有樣となつた。一方目下三銀行の合同案が考慮されつゝある。

なほ右の外、本日左の各州に於ても銀行の休業が發表された。

南カロライナ州	十二行	
ペンシルヴアニア州	三行	
西ヴアージニア州	二行	
ニュージャーシー州	四行	
ミゾリー州	二行	

(備考)(單位千ドル)

	資本	預金
City Trust Savings Bank	一、〇〇〇	一七、〇〇〇
Dollor Savings and Trust Company	二、六〇〇	二一、一〇〇
Tirst National Bank	二、六〇〇	一七、八〇〇

ニューヨーク準銀再利上

ニューヨーク 十月十五日(木)

ニューヨーク聯邦準備銀行は本日公定割引歩合を二歩半から更に三歩半に引上げた。因に同行は去る八日二歩半に引上げた許りである。

利上事情

ニューヨーク聯邦準備銀行は前週の利上げに續いて本日又復公定割引歩合を一分引上げ三分半に改訂した。これが理由について一部では金流出防止のためであると觀てゐるが、然し銀行界では金流出を以て驚愕するに足らずといつてゐる。某々銀行家はいふ。

準銀の金利が一分半といふ著しく低率に据置いてあつたのは願はざる金の流入を防止せんがためであつた。然し金は今や流出に轉換したのだから斯くの如き低率を維持すべき理由はなくなつた。特に低金利政策が經濟界回復に何等の効果を齎らさなかつたのだから然り。

準銀續々利上げ

ニューヨーク 十月十六日(金)

ニューヨーク準銀の利上げに連れてボストン聯邦準備銀行は本日公定割引歩合を二分半より三分半に、シカゴ聯邦準備銀行も同樣二分半より三分半に引上げた。

ノールウエー銀行利下

オスロー 十月十七日(土)

ノールウエー國立銀行は本日公定割引歩合を七分から六分に引下げた。同行は去る十月八日八分から七分に引下げて今日に及んだものである。

スエーデン銀行利下げ

ストックホルム 十月十七日(土)

スエーデン銀行は本日公定割引歩合を七分から六分に引下げた。同行は去る十月八日八分から七分に引下げて今日に及んだものである。

官銀號の開業決定

奉天 十月十一日(日)

東三省官銀號は今回決定された管理辦法に基き地方維持隊監督の下に來る十五日より開業するに決したが、同時に邊業銀行も開業する豫定である。右官銀號に適用される管理辦法內容左の如し。

一、營業公金預金の拂戻しはこれを留保す。

一、爾今公金の取扱ひは官銀號のみとす

一、預金拂戻しに當り預金者に貸金ある時は預金をもつて相殺することあるべし。但し同業者の預金拂戻しについてはこの制限に依らざる事あるべし。

一、現大洋票五千元未滿は金額を拂戻す五千元以上一萬元未滿のものは六千元を拂戻す。一萬元以上は一萬元を增す毎に一千元を支拂ふ。

一、預金拂戻しは一週一人一回。

一、新規の拂戻しは自由とす。

一、公金の貸出はつとめて回收し、新規貸出は必要已むを得ざるものゝみとす。支店貸出は本店の許可を要す。
一、爲替取組は次の制限を設く。
イ、商取引又は個人の正當なる要求に限る。
ロ、滿鐵沿線各支店の大口取組は本店の許可を仰ぐ。
一、未發行の紙幣は緘封保管す。新たに發行する時は確實なる發行準備を作る。
一、兌換は城内に兌換所一を設け一人一日現大洋五十元を限り兌換に應ず。現大洋百元以上は城外に持出すを禁止す。これに反するものは嚴罰に處す。
一、辨法は官銀號の接收により効力消滅す。

南阿聯邦
金本位制廢棄を延期
クラドック　十月十三日（火）

南阿聯邦の金本位制廢棄問題に關し本日聯邦内閣マラン博士は左の如く發表した。南阿聯邦政府は金本位制を廢棄すべきや否やの決定をイギリス本國の總選擧が終了する迄延期する積りである。

爲替・銀塊

ロンドン外國爲替市況
ロンドン　十月十五日（木）

相場の動きは小さく、特記材料なし。支那及び日本爲替は依然落付かず、相場の動きは稍々激しい。

アメリカの東洋向
利付爲替手形利率引上
（ニューヨーク住友銀行發）

ニューヨークに於ける東洋關係銀行組合の東洋向利付爲替手形の協定利率は來る十月廿日以後六分に引上げられる事になつた。因に右利率は五月廿九日以降五分に引下げられて今日に及んだもので、今回の利上げは同地金利の硬化に追隨したものである。

アメリカ九月中の
金銀塊輸出入額
ワシントン　十月十六日（金）

アメリカ商務省發表、九月中のアメリカ金銀塊輸出入額は左の如し（單位千ドル）

金塊（輸入）	四九、二四〇	本年累計	三六七、一九六	昨年同期 二八七、一七四
金塊（輸出）	二八、七〇八		三〇、五四四	一一〇、六五六
銀塊（輸入）	二、三六九		二〇、七一三	三三、五五八
銀塊（輸出）	二、一三一		二一、二二〇	四二、〇六一

〔備考〕（單位千ドル）

	金塊		銀塊	
	輸入	同輸出	輸入	同輸出
昨年九月	一三、六七一	一九、二五五	三、四六一	三、九〇三
本年一月	三四、四二六	五四	二、八九六	三、五七四
二月	一六、一四五	一四	一、八七六	一、六三四
三月	二五、六六一	二六	一、八二一	二、三三
四月	四九、五四三	二七	二、四三九	三、二四九
五月	五〇、二五八	六二八	二、六三六	二、〇九九
六月	六三、八八七	三九	二、三五一	一、八九二
七月	二〇、四九七	一、〇〇九	一、六四〇	二、八〇四
八月	五七、五三九	三九	二、六八五	二、〇二四
九月	四九、二四〇	二八、七〇八	二、三六九	二、一二一

アルゼンチン
爲替思惑を取締る
ブエノスアイレス　十月十日（土）

アルゼンチンの爲替が對外輸出旺んなるにも拘らず之が下落率餘りに甚だしく、右は輸出商が手形を主としてロンドンで有利に賣る結果と、之に伴ふ投機が行はれる爲めである。よつて政府は爲替政策上八日夜左の如く法令を發表した。

一、十月十日迄に内外銀行に賣豫約せる輸出手形金額及既送品に對し賣り渡すべき手形金額を本貨に換算し、大藏省に屆出ずべし。
一、右法令に隨はざるものは當國稅關は爾今輸出許可を與へざること。

右法令發表の結果九日來ア貨は若干上向き從つて輸入商は稍々喜悅の色を見せてゐる

南阿兩ローデシア
金本位制停止
リヴィングストン　十月十二日（月）

イギリス植民地の一つたるアフリカのローザン・ローデシアは本日より金本位制を停止した。その結果政府より書面による許可を經ずして金貨を國外に輸出すること並に額面以上で金貨を賣買することは禁止された。

尙右金本位制停止はイギリス自治領相トーマス氏の訓令に基くものでサヴン・ローデシアでも金本位制停止を行つた旨正式に發表された。

フインランドも
金本位制停止
ヘルシングフオールス　十月十二日（月）

フインランド共和國はイギリスの影響を受けて本日より金本位制を停止した。而してフインランド國立銀行は本日よりその公定割引歩合を七分半より九分に引上げた。

ロンドン銀塊市況
ロンドン　十月十四日（水）

△サミユル・モンタギユー商會

米英爲替の動きと滿洲事變の成行を眺め賣り手は稍々賣り澁りの態度を見せ、一方空賣り買ひ埋めのため相當買ひ註文が出たので相場は十二日（月）には上放れた。然しこの値頃には支那及びアメリカ筋が賣り氣を示し、相場は十三、十四の兩日に亘つて續反落した

目下の所市場には色々の不安材料があるので氣配は依然極めて落付かない

ロンドン　十月十五日（木）

△モーカッタ・ゴールドスミッド商會

今週は少量の思惑買ひ並にインド及び支那筋の空賣りの買ひ埋めが出た。然し支那筋は又賣り物も出した。アメリカは茲數日來値決後賣り方に廻り屢々公定相場以下で賣り物を出した。

イギリス
九月中の銀塊輸出入高
ロンドン　十月十二日（月）

イギリス商務省發表、九月中のイギリス銀塊輸出入額は左の如し（單位千オンス）

		一月以降累計	昨年同期
△輸入	粗銀	三、五三八	九、〇五九
	精銀	四、一三九	六二、二二二
△輸出（精銀）	内アメリカより	二、六三四	五七、六八〇
	内支那へ	二、七〇二	二八、六九七
	印度へ	—	一四、一三八
		七五八	五八、〇六三
			七、六四四
			四二、二三七
			四、七五六
			五八、七三二

金物

ニューヨーク金物市況
ニューヨーク　十月十四日（水）

△鋼鐵　製鋼會社の作業率は依然全能力の二割九分見當であるが、當業者は前途稍々樂觀氣分となつてゐる。これは或種の製品に需要が相當增加したのと十月後半には市況の一般的見直しあるべしと期待されるためである。

△銑鐵　閑散。

△銅　需給統計不良なるため買ひ物は手控へられてゐる。然し十月下旬の減産會議で何等か好材料も出來るものと見越し人氣は底堅い。

△錫　若付。買ひ物は多少見直した。然し消費筋は依然警戒的狀態をとつてゐる。

△鉛　底堅い。消費筋はボツボツ乍ら確信を取り返してゐる。

△亞鉛　需要は小口に限られてゐる。

△安質母尼　閑散小口需要あるのみ。

ニューヨーク金物相場
十月十三日（火）（ビツツバーグ渡）

銑鐵第二號鑄物用（一トン）	一六弗〇〇仙
ビレツツ（ベスマ、同）	二九弗〇〇仙
スチール・バー（ベスマ、百封度）	一弗六〇仙
スチール・ルシエーブス（同、同）	一弗六〇仙
タンク・プレート（同、同）	一弗六〇仙
ブラックシート（廿四番同）	二弗四〇仙
亞鉛引シート（同、同）	二弗九〇仙
鉄力（ブライム・ベース）（ボツクス、一箱）	四弗七五仙

十月十五日（木）

海峽錫（一口一車廿五トンc.i.f.紐育）	二三仙八分三
亞鉛（一口一車ブライム・ウエスタンf.o.b.聖路易渡）	三仙八分三
鉛（一口一車紐育渡）	四仙
安質母尼（一口一車廿五トン關稅濟f.o.b.紐育）	六仙二分一

（電氣銅相場は第五頁に掲載）

九月中の
南北アメリカ銅統計
ニューヨーク　十月十四日（水）

（アメリカ金物統計局發表）（單位千米トン）

	本年累計	昨年同期
精銅生産高	八七九	一、一二二
同　引渡高	六二	九三三
内輸出	三三	三三二
内地	四〇	六〇一
	四七五	三六一
精銅月末在荷高	四八〇	—
粗銅月末在荷高	一七	三三六

（備考）

	精銅		粗銅
	生産高	輸出	在荷高
昨年九月	一一六	一〇三	三六一
本年一月	一〇二	六五	三六四
二月	一〇〇	六〇	三五四
三月	一〇一	一一一	二一一
四月	一〇三	一〇〇	一九九
五月	一〇三	三七	一九四
六月	九八	七五	三六八
七月	九六	五〇	三九九
八月	九〇	八三	一九一
九月	八七	三三	一八七

	内地計	精銅在荷高
昨年九月	一〇三	三六一
本年一月	一〇六	三六四
二月	一〇一	三五四
三月	一〇一	三五四
四月	一〇三	三六八
五月	一〇三	三九九
六月	九八	四一三
七月	九六	四〇
八月	九〇	四五六
九月	八七	四八〇

ロンドン金物市況
ロンドン　十月十七日（土）

市況は可成り活潑。

△銅　初め急騰したが、その後反落した。これは九月のアメリカ精銅統計が豫期よりも惡かつたためである。然し乍ら産銅業者が來週アメリカに於て減産會議を開かんとしてゐるとの報道に市場はなほ有力に買ひ支へられてゐる

△錫　特に現物に對して頗る多額の買ひ支へが行はれてゐる。然し乍ら賣り物も多く、相場の昂騰歩調を阻止してゐる。而して目下の形勢はボンヤリで内地需要は閑散。外國の消費需要も餘りよくない。

△鉛　市況は依然見直さない。これは在荷が增加しつゝあるのと大陸の需要が思はしくないためである。

△亞鉛　亞鉛引き工業が復活して來たので市況は活氣を呈してゐる。

△銑鐵　外國品の輸入不利と、先高見越しで賣れ行良好である。クリーブランド三號現物に限り五十八志六片。

△鋼鐵　强調ながらストック尙多く、爲めに値上げせず、内外需要喚起に努めて居る。

ロンドン鐵類相場
十月十二日（月）

鉄力（20×14×112）（一箱百封度）	蘇格蘭	一四志四分一
	東北岸	
十月十七日（土）		
アイアン・クラウンバー	九磅二分一	九磅二分一
アイアン・アングル	九磅四分三	九磅四分三
アイアン・テイース	一〇磅	一〇磅
スチール・シツプ・プレート	七磅四分三	七磅四分三
ボイラー・プレート	九磅	九磅二分一
スチール・アングル	七磅八分三	七磅八分三
スチール・ジヨイスト	七磅八分三	七磅八分三
レール	—	八磅
シエーフイルド・スチール・ビレツツ（ソフト現物）	六磅四分一	
（ハード同）	七磅八分一	八磅八分五
リーヴランド・スクラツプ（ヘビー・スチール）	三七志三分一	
（ヘビー・カストアイアン四〇志）	—	四三志
銑鐵（グラスゴー第三號上物）		六九志二分一
同（グリヴランド第三號鑄物用輸出品）		五八志二分一
ブラックシート（東北岸本船渡）（一束百七封度）	一〇磅	

イギリス
九月中の鋼鐵生産高
ロンドン　十月十四日（水）

イギリス鐵鋼協會の發表によれば本年九月中の同國銑鐵生産高は二十四萬八千トンで、前月に比し二萬八千トンの減少を示した。然し同月中の鋼鐵生産高は四十萬一千トンで、この方は前月に比し四萬四千トンの增加を示してゐる。

九月末現在作業中熔鑛爐數は六十二基、前月末に比し二基の減少である。

本年一月より九月迄の鐵鋼生産高を昨年同期に比べると左の通りで銑鐵四割四分減鋼鐵三割六分減である。（單位千トン）

	銑鐵	鋼鐵
本年一月—九月	二、八四七	三、八三六
昨年同期	五、〇四九	六、〇一四

昨年九月及び本年一月以降每月の生産高は左の通り（單位千トン）

	銑鐵	鋼鐵
昨年九月	四二五	五八一
本年一月	三三七	四〇三
二月	三一八	四八六
三月	三五七	五〇〇
四月	三三三	三九七
五月	三四七	四三五
六月	三一七	四二九
七月	二七六	三五七
八月	二四八	四〇一

イギリス九月中の
對日鐵類輸出高
ロンドン　十月十二日（月）

イギリス商務省發表、九月中にイギリスより日本へ輸出した鐵類は左の通り。（單位トン）

	一月以降累計	昨年同期
薄板	四、六〇一	三、一二三
鉄力	一、〇〇七	一、六四四

（備考）（單位トン）

	薄板	鉄力
昨年九月	五三三	一、八三〇
本年一月	四一八	一、四六〇
二月	四六五	一、一〇七
三月	一七七	七六六
四月	三三五	一、二一一
五月	二、一四六	一、五七二
六月	三、七四六	一、九三四
七月	二、〇〇五	二、〇五七
八月	二、八八七	二、八八五
九月	四、六〇一	一、〇〇七

ドイツ
九月中の鐵鋼生産高
ベルリン　十月十四日（木）

ドイツ鐵鋼協會發表、本年九月中の銑鐵生産高は四十三萬八千トンで、前月に比し更に六萬一千トンの減少を示した。又鋼鐵の生産高は五十九萬三千トンで、これは前月に比し九萬六千トンの激減である。

本年一月から九月迄の累計を昨年同期に較べると左の通りで、銑鐵三割七分減鋼鐵二割七分減である（單位千トン）

	昨年	本年
銑鐵	七、五五六	四、八四八
鋼鐵	九、一九五	六、六九五

昨年同期及び本年一月以降每月の生産高左の通り。

	銑鐵	鋼鐵
昨年九月	六五三	八一四
本年一月	六〇三	七一三
二月	五三〇	七六〇
三月	五六〇	八一一
四月	五二九	七四三

	銑鐵	鋼鐵
本年五月	五五五	七四四
六月	五七五	七七九
七月	五六九	八〇三
八月	四九九	八八九
九月	四三八	五九三

昭和六年十月十一日——十七日發信

場相物金

十月十一日（月）　十月十二日（火）　十月十三日（水）　十月十四日（木）　十月十五日（金）　十月十六日（土）　十月十七日（土）

ンドンロ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
現物（銅一噸）	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅
先物（銅一噸）	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅
現物（錫一噸）	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅
先物（錫一噸）	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅
電氣銅（一噸）	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅
買手（一噸）	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅	四百四十磅
鉛（一噸）	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅
亞鉛（一噸）	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅	三百三十磅
現物	休	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅
先物	休	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅	三百十六磅
現物	休	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅
先物	休	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅	三百三十六磅

クーヨーユニ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電氣銅	一月渡	休	七百十六磅	七百十六磅	七百十六磅	七百十六磅	七百十六磅

場相替爲國外

十月十一日（月）　十月十二日（火）　十月十三日（水）　十月十四日（木）　十月十五日（金）　十月十六日（土）　十月十七日（土）

イベンポ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替	一留比ドン	一留比ドン	一留比ドン	一留比ドン	一留比ドン	一留比ドン	一留比ドン
銀行賣	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）
電信爲替出來値	百弗（ニューヨーク）	百弗（ニューヨーク）	百弗（ニューヨーク）	百弗（ニューヨーク）	百弗（ニューヨーク）	百弗（ニューヨーク）	百弗（ニューヨーク）

海上

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替出來値	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）
電信爲替出來値	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）

港香

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替出來値	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）
電信爲替出來値	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）

ルーボガンシ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替銀行賣	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）
電信爲替銀行賣	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）

ワヤシ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替銀行賣	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）	一百弗（ロンドン）
電信爲替銀行賣	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）	百弗（日本）

タツカルカ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替銀行賣	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）	一百圓（ロンドン）
電信爲替銀行賣	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）

ンドンロ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替	一磅（ロンドン）	一磅（ロンドン）	一磅（ロンドン）	一磅（ロンドン）	一磅（ロンドン）	一磅（ロンドン）	一磅（ロンドン）
電信爲替	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）	百圓（日本）
銀行賣	上海百圓	上海百圓	上海百圓	上海百圓	上海百圓	上海百圓	上海百圓
爲替	一法（フランス）	一法（フランス）	一法（フランス）	一法（フランス）	一法（フランス）	一法（フランス）	一法（フランス）
爲替	一盾（オランダ）	一盾（オランダ）	一盾（オランダ）	一盾（オランダ）	一盾（オランダ）	一盾（オランダ）	一盾（オランダ）
爲替	一馬克（ドイツ）	一馬克（ドイツ）	一馬克（ドイツ）	一馬克（ドイツ）	一馬克（ドイツ）	一馬克（ドイツ）	一馬克（ドイツ）
爲替	一法（スイス）	一法（スイス）	一法（スイス）	一法（スイス）	一法（スイス）	一法（スイス）	一法（スイス）
爲替	一里拉（イタリー）	一里拉（イタリー）	一里拉（イタリー）	一里拉（イタリー）	一里拉（イタリー）	一里拉（イタリー）	一里拉（イタリー）

クーヨーユニ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
電信爲替	一磅（アメリカ）	一磅（アメリカ）	一磅（アメリカ）	一磅（アメリカ）	一磅（アメリカ）	一磅（アメリカ）	一磅（アメリカ）
電信爲替	砂一（上海）	砂一（上海）	砂一（上海）	砂一（上海）	砂一（上海）	砂一（上海）	砂一（上海）
電信爲替	一留比（ポンペイ）	一留比（ポンペイ）	一留比（ポンペイ）	一留比（ポンペイ）	一留比（ポンペイ）	一留比（ポンペイ）	一留比（ポンペイ）
電信爲替	一弗（香港）	一弗（香港）	一弗（香港）	一弗（香港）	一弗（香港）	一弗（香港）	一弗（香港）
電信爲替	一弗（廣東）	一弗（廣東）	一弗（廣東）	一弗（廣東）	一弗（廣東）	一弗（廣東）	一弗（廣東）
電信爲替	一弗（ハノイ）	一弗（ハノイ）	一弗（ハノイ）	一弗（ハノイ）	一弗（ハノイ）	一弗（ハノイ）	一弗（ハノイ）
電信爲替	一弗（ペルリン）	一弗（ペルリン）	一弗（ペルリン）	一弗（ペルリン）	一弗（ペルリン）	一弗（ペルリン）	一弗（ペルリン）
電信爲替	一弗（ボンベイ）	一弗（ボンベイ）	一弗（ボンベイ）	一弗（ボンベイ）	一弗（ボンベイ）	一弗（ボンベイ）	一弗（ボンベイ）
電信爲替	一弗（ムスカット）	一弗（ムスカット）	一弗（ムスカット）	一弗（ムスカット）	一弗（ムスカット）	一弗（ムスカット）	一弗（ムスカット）
電信爲替	一弗（ルツン）	一弗（ルツン）	一弗（ルツン）	一弗（ルツン）	一弗（ルツン）	一弗（ルツン）	一弗（ルツン）
電信爲替	一弗（ミラン）	一弗（ミラン）	一弗（ミラン）	一弗（ミラン）	一弗（ミラン）	一弗（ミラン）	一弗（ミラン）
電信爲替	一弗（ベルリン）	一弗（ベルリン）	一弗（ベルリン）	一弗（ベルリン）	一弗（ベルリン）	一弗（ベルリン）	一弗（ベルリン）

場相債社公

十月十一日（月）　十月十二日（火）　十月十三日（水）　十月十四日（木）　十月十五日（金）　十月十六日（土）　十月十七日（土）

クーヨーユニ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
日本興業銀行	一百弗（分半利六）	一百弗（分半利六）	一百弗（分半利六）	一百弗（分半利六）	一百弗（分半利六）	一百弗（分半利六）	一百弗（分半利六）
東京市	一百弗（同五分利新）	一百弗（同五分利新）	一百弗（同五分利新）	一百弗（同五分利新）	一百弗（同五分利新）	一百弗（同五分利新）	一百弗（同五分利新）
東京市	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）
横濱市	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）
東拓	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）
東拓	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）
大同電力	一百弗（七分半利）	一百弗（七分半利）	一百弗（七分半利）	一百弗（七分半利）	一百弗（七分半利）	一百弗（七分半利）	一百弗（七分半利）
宇治電	一百弗（七分利）	一百弗（七分利）	一百弗（七分利）	一百弗（七分利）	一百弗（七分利）	一百弗（七分利）	一百弗（七分利）
日本電力	一百弗（六分半利）	一百弗（六分半利）	一百弗（六分半利）	一百弗（六分半利）	一百弗（六分半利）	一百弗（六分半利）	一百弗（六分半利）
東邦電力	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）	一百弗（五分半利）
東電力	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）	一百弗（六分利）

場相式株

十月十一日（月）　十月十二日（火）　十月十三日（水）　十月十四日（木）　十月十五日（金）　十月十六日（土）　十月十七日（土）

クーヨーユニ

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
休	一百弗（ルチー株）	一百弗（ルチー株）	一百弗（ルチー株）	一百弗（ルチー株）	一百弗（ルチー株）	一百弗（ルチー株）	一百弗（ルチー株）
一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）	一百弗（シンダナコ株）
纖維株	平二十均種	平二十均種	平二十均種	平二十均種	平二十均種	平二十均種	平二十均種
工業株	三十均種	三十均種	三十均種	三十均種	三十均種	三十均種	三十均種
リモンワートコドメ株	一百弗（新）	一百弗（新）	一百弗（新）	一百弗（新）	一百弗（新）	一百弗（新）	一百弗（新）
コーチオ	一百弗（シーコーヨンレ）	一百弗（シーコーヨンレ）	一百弗（シーコーヨンレ）	一百弗（シーコーヨンレ）	一百弗（シーコーヨンレ）	一百弗（シーコーヨンレ）	一百弗（シーコーヨンレ）
ゼネラルモーター	一百弗（モーター）	一百弗（モーター）	一百弗（モーター）	一百弗（モーター）	一百弗（モーター）	一百弗（モーター）	一百弗（モーター）
出來高	休	三百八十八磅	三百八十八磅	三百八十八磅	三百八十八磅	三百八十八磅	三百八十八磅

阪大

	十月十一日（月）	十月十二日（火）	十月十三日（水）	十月十四日（木）	十月十五日（金）	十月十六日（土）	十月十七日（土）
鐘紡	休	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓
鐘紡	休	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓
鐘紡	休	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓
鐘紡	休	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓	二百五十五圓
當限	休	六百〇〇円	六百〇〇円	六百〇〇円	六百〇〇円	六百〇〇円	六百〇〇円

棉花相場

ニューヨーク

新約定（一封度建）

十月	十月限	十二月限	一月限	三月限	五月限	七月限	現物
十二日（月）	休	六・一五	六・二五	六・三九	六・五六	六・七五	六・九五
十三日（火）	休	六・〇八	六・一〇	六・二九	六・五一	六・七五	六・八八
十四日（水）	六・〇四	六・一三	六・二四	六・四一	六・六二	六・八〇	六・一〇
十五日（木）	六・一二	六・二一	六・三三	六・五三	六・七二	六・九二	六・二五
十六日（金）	六・三四	六・四一	六・五四	六・七三	六・九二	七・一〇	六・五〇
十七日（土）							

ルーブアヴリ

（一封度建）

十月	一月限	二月限	三月限	現物
十二日（月）	四・一一	四・二五	四・二九	四・五九
十三日（火）	四・三四	四・三六	四・四三	四・六七
十四日（水）	四・三七	四・四三	四・四八	四・七八
十五日（木）	四・三五	四・四〇	四・四二	四・八一
十六日（金）	四・四〇	四・三八	四・四二	四・七七
十七日（土）	四・四四	四・三六	四・四一	四・七八

ヤリドンサキレア

（一カルタ＝キログラム）

十月	十一月限	一月限	十二月限	三月限
十二日（月）	一三・三一	一三・八〇	八・五三	八・九二
十三日（火）	一三・五一	一四・〇一	八・〇八	九・〇一
十四日（水）	一三・六六	一四・〇一	九・〇四	九・三四
十五日（木）	一三・五七	一四・〇九	八・八一	九・三一
十六日（金）	一三・六二	一四・〇一	八・九三	九・三三
十七日（土）	一四・〇四	九・〇二	九・三二	九・三二

ボンベイ

（一キログラム＝ブローチ）

十月	十二月渡	一月渡	三月渡	四月渡
十二日（月）	一三七・二分一	休	一三〇	一七三・二分一
十三日（火）	一三九・四分一	一三〇	一四九・二分一	一七〇・四分一
十四日（水）	一三〇	一五〇・四分一	一五〇・四分一	一七一・二分一
十五日（木）	一三一・四分一	一五一・四分一	一五一・四分一	一七三・四分一
十六日（金）				
十七日（土）				

大阪

米棉十俵（三十六擔）建

十月	十月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限
十二日（月）	一八・七〇	一九・〇五	一九・四五	二〇・〇五	二〇・二五	二〇・〇〇
十三日（火）	一九・〇〇	一九・九五	二〇・〇〇	二〇・六〇	二〇・三〇	二〇・九五
十四日（水）	一九・八五	二〇・〇六	二〇・八五	二一・五五	二一・〇〇	二一・六五
十五日（木）	二〇・〇〇	二〇・六五	二一・〇〇	二一・三〇	二一・六〇	二一・三五
十六日（金）	二〇・一〇	二〇・六〇	二一・〇〇	二一・三〇	二一・六〇	二一・三〇
十七日（土）						

生絲相場

ニューヨーク

（定期買値、一封度建）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限	五月限	出來高
十二日（月）	休	二・三一	二・二九	二・二六	二・二五	二・二四	二・二五	二・二四	四五〇
十三日（火）	休	二・三〇	二・二六	二・二六	二・二五	二・二四	二・二五	一・一〇八	一〇八〇
十四日（水）	休	二・三一	二・二七	二・二六	二・二六	二・二五	二・二五	二・二六	九〇
十五日（木）	休	二・三一	二・二七	二・二六	二・二六	二・二五	二・二五	二・二六	三三〇
十六日（金）	休	二・三一	二・二八	二・二六	二・二六	二・二五	二・二五	二・二六	三六〇
十七日（土）	休	二・三一	二・二八	二・二六	二・二六	二・二五	二・二五	二・二六	三六〇

市中相場

	十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限	五月限
ベトナム	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
スクラッチXXXX	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
同黄廿一グランドXXXX	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
同白廿一グランドXXXX	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
日本糸シカルXB	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
日本糸XA	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
伊國糸	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
支那糸	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二
廣東糸	十四日	休	二・二五	二・四七	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二	二・三二

横濱

機械太一番（上一番格）十斤建

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限
十二日（月）	休	五七・〇〇	五七・六〇	五八・〇〇	五八・二〇	五八・二〇
十三日（火）	休	五七・一〇	五八・〇〇	五八・九〇	五八・九〇	五八・九〇
十四日（水）	休	五七・三〇	五七・四〇	五八・二〇	五九・一〇	五九・二〇
十五日（木）	休	五七・二〇	五七・四〇	五八・二〇	五九・一〇	五九・二〇
十六日（金）	休	五七・一〇	五七・六〇	五八・一〇	五九・四〇	五九・七〇
十七日（土）	休	五七・一〇	五七・六〇	五八・一〇	五九・四〇	五九・七〇

大阪綿糸

一梱建（四百封度）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限
十二日（月）	休	九一・一〇	九三・二〇	九四・二〇	九五・〇〇	九六・五〇	九七・〇〇
十三日（火）	休	九〇・九〇	九三・七〇	九五・四〇	九七・〇〇	九六・九〇	九七・〇〇
十四日（水）	休	九四・三〇	九六・九〇	九七・九〇	九七・四〇	九六・九〇	九七・一〇
十五日（木）	休	九四・〇〇	九六・九〇	九七・八〇	九七・四〇	九六・八〇	九七・一〇
十六日（金）	休	九四・〇〇	九六・九〇	九七・七〇	九七・四〇	九六・六〇	九七・〇〇
十七日（土）	休	九二・六〇	九四・九〇	九六・八〇	九八・〇〇	九八・三〇	九八・五〇

砂糖相場

ニューヨーク

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	五月限
十二日（月）	休	一・一六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七
十三日（火）	休	一・一六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七
十四日（水）	休	一・一六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七
十五日（木）	休	一・一六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七
十六日（金）	休	一・一六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七
十七日（土）	休	一・一六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七	一・二六分七

出來値（玖馬積十月）

ロンドン

定期（一封度）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	五月限	九月限
十二日（月）	休	一・四一	一・三八	一・三六	一・三五	一・三四	一・三五	一・四〇
十三日（火）	休	一・四一	一・三八	一・三六	一・三五	一・三四	一・三五	一・四〇
十四日（水）	休	一・四一	一・三八	一・三六	一・三五	一・三四	一・三五	一・四〇
十五日（木）	休	一・四一	一・三八	一・三六	一・三五	一・三四	一・三五	一・四〇
十六日（金）	休	一・四一	一・三八	一・三六	一・三五	一・三四	一・三五	一・四〇
十七日（土）	休	一・四一	一・三八	一・三六	一・三五	一・三四	一・三五	一・四〇

ヤバラス

轉賣市場出來値、白双百基瓦建、（△印買値）

十月	直渡	十月渡	十一月渡	十二月渡	一月渡
十二日（月）	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	
十三日（火）	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	
十四日（水）	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	
十五日（木）	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	
十六日（金）	七・八分三	七・八分三	七・八分三	七・八分三	
十七日（土）	七・八分三	七・八分三	七・八分三	七・八分三	

大阪

分蜜糖保稅品（百斤建）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限
十二日（月）	八・六八	八・〇〇	八・九一			
十三日（火）	八・七三	八・九三	八・九三			
十四日（水）		八・八五	八・九三			
十五日（木）		八・八一				
十六日（金）		八・八一				
十七日（土）		八・九一				

上海糸綿

右十六手（一梱建）

十月	十月限	三月限
十二日（月）	一六〇・九	一六〇・一
十三日（火）	一六〇・七	一五九・四
十四日（水）	一六一・〇	一五九・六
十五日（木）	一六一・五	一六〇・二
十六日（金）	一六一・〇	一六〇・九
十七日（土）	一六四・三	一六一・七

小麥相場

シカゴ

一ブッセル建

十月	十二月限	五月限	七月限	取引出來高（千ブッセル）
十二日（月）	休	五〇・八分一	五四・八分五	三〇、〇〇〇
十三日（火）	五〇	五〇	五四・八分一	三〇、〇〇〇
十四日（水）	五〇・八分一	五四・四分一	五四・四分一	二〇、〇〇〇
十五日（木）	五〇・二分一	五四・四分一	五四・四分三	—
十六日（金）	五一・八分五	五五・八分七	五五・四分一	二〇、〇〇〇
十七日（土）		五六・八分三		

ルトヤシ

一ブッセル建

十月	十二月限	五月限
十二日（月）	休	五一・八分五
十三日（火）	五一	五一・八分三
十四日（水）	五一・八分三	五四・八分三
十五日（木）	五二・四分三	五四・四分一
十六日（金）	五三・八分五	五五・八分七
十七日（土）		五六・八分七

ドンラトーボ

一ブッセル建

十月	十二月渡	五月渡
十二日（月）	休	五一
十三日（火）	五一	五四
十四日（水）	五一・二分一	五三・四分三
十五日（木）	五二・八分三	五四・二分一
十六日（金）	五三・四分一	五五・二分一
十七日（土）		五六・四分三

グツベニイウ

一ブッセル建

十月	十月限	十二月限	五月限
十二日（月）	休	五五・四分三	
十三日（火）	五五	五四・四分一	
十四日（水）	五四・二分一	五四・八分三	
十五日（木）	五五・八分七	五四・八分一	
十六日（金）	五六・八分三	五五・四分一	
十七日（土）		五九	
		五九・八分五	

ループアヴリ

百封度建

十月	十月限	十二月限	三月限
十二日（月）	五四・四分三	五七・八分七	
十三日（火）	五六	五八・八分一	
十四日（水）	五五・二分一	五七・四分三	
十五日（木）	五四・四分三	五七	
十六日（金）	五五・四分七	五八	
十七日（土）	五六・八分一	五八・四分一	

ンルボルメ

十月	十月渡
十二日（月）	三一
十三日（火）	三一
十四日（水）	三一
十五日（木）	三一
十六日（金）	三一
十七日（土）	三一

（ヴイクトリヤ產品本船）

上海小麥粉

四十九封度建

十月	十月限	十二月限
十二日（月）	一・九・四三五（兩替）	一・九・五三五（兩替）
十三日（火）	一・九・九二五	二・〇・五〇〇
十四日（水）	一・九・七〇〇	一・九・八七五
十五日（木）	一・九・八〇〇	二・〇・〇〇〇
十六日（金）	一・九・八二五	一・九・九五〇
十七日（土）		

護謨相場

ロンドン

シート（一封度）

十月	現物買手	同賣手	一、二、三月渡買手	同賣手
十二日（月）	二・十六分十五	三	三・八分一	三・十六分三
十三日（火）	二・十六分十五	三・十六分一	三・八分一	三・十六分三
十四日（水）	二・十六分十五	三	三・八分一	三・十六分三
十五日（木）	二・十六分十五	三	三・八分一	三・十六分三
十六日（金）	二・十六分十五	三	三・八分一	三・十六分三
十七日（土）	三	三・十六分一	三・八分一	三・四分一

ニューヨーク

シート（一封度）

十月	現物買手	一、二、三月渡買手
十二日（月）	四・八分七	休
十三日（火）	四・十六分十五	五
十四日（水）	四・八分七	五・十六分一
十五日（木）	四・十六分十五	五
十六日（金）	四・十六分十五	五・八分一
十七日（土）	五・八分一	

ルーボガンシ

シート（一封度）

十月	現物	一、二、三月渡
十二日（月）	八・八分七	九・八分三
十三日（火）	九・四分一	九・八分七
十四日（水）	九・八分一	九・四分三
十五日（木）	九・八分三	一〇
十六日（金）	九・四分一	九・八分七
十七日（土）	九・八分三	一〇

油脂相場

ニューヨーク

棉實油（一封度）

十月	一月限	三月限
十二日（月）	休	四・七五
十三日（火）	四・六九	四・六九
十四日（水）	四・五九	四・七八
十五日（木）	四・六六	四・七三
十六日（金）	四・七五	四・九〇
十七日（土）		

ロンドン

亞麻仁油（倫敦渡罐十二封度）

十月	十、十二月渡	一、四月渡
十二日（月）	一五・八分五（賣）	一六・八分七（賣）
十三日（火）	一五・四分三（同）	一七・八分一（同）
十四日（水）	一五・二分一（同）	一七・四分一（同）
十五日（木）	一五（買）	一六・四分三（買）
十六日（金）	一五・二分一（賣手値段で出來値）	一七・八分一（賣手値段で出來値）
十七日（土）	一五・八分五（賣）	一七（買）

ロンドン亞麻仁

（百十二封度）

十月	ラプラタ積	
十二日（月）	八・十六分十一（賣）	
十三日（火）	八・四分三（同）	
十四日（水）	八・十六分十五（賣手値段で出來値）	
十五日（木）	八・八分一（同）	
十六日（金）	八・十六分十一（同）	
十七日（土）	八・八分七（同）	
	八・十六分十三（同）	

袋麻タツカルカ

本船直渡（百枚建）

十月	鐵筋	青筋
十二日（月）	二・六（買比）	二・九（買比）
十三日（火）	二・六	二・九
十四日（水）	二・六・四分一	二・九・八分一
十五日（木）	二・六・二分一	二・九・十六分五
十六日（金）	二・六・八分五	二・九・十六分七
十七日（土）	二・六・四分一	二・九・八分一

ヘシアン

大連特產

粕豆

十四日限（一枚銀建）△印前引

十月	現物	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限
十二日（月）	一・七五〇	一・七五〇	△一・七八〇	一・七八〇	一・七九五	△一・八一五
十三日（火）	一・七三五	△一・七三〇	△一・七六五	一・七七五	一・七七〇	
十四日（水）	一・七五〇		△一・七六五	△一・七七〇	△一・七七〇	
十五日（木）	一・七六〇		△一・七七〇	一・八〇五	一・八〇五	
十六日（金）	一・七五〇			△一・七八五	△一・七九五	△一・八一〇
十七日（土）	休					

大豆

月末限（百斤銀建）△印前引

十月	現物	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限
十二日（月）	五・二一	五・二三	五・三五	五・三六	五・三七	
十三日（火）	五・二一	五・二三	五・三〇	五・三五	五・三五	
十四日（水）	五・二六	五・二五	五・三九	五・四二	五・四二	
十五日（木）	五・二四	五・三二	五・三九	五・四三	五・四八	
十六日（金）	五・二八	五・二四	五・三二	五・三七	五・四〇	
十七日（土）	休					

大豆油

十四日限（百斤銀建）△印前引

十月	現物	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限
十二日（月）	一三・四〇	一三・五〇	一三・八〇	一三・九〇	一三・一〇	
十三日（火）	一三・五〇	△一三・三〇	△一三・八〇	一三・八五	一四・一五	
十四日（水）	一四・三〇		一四・〇〇	一四・五〇	一四・七〇	
十五日（木）	一三・九〇		一三・九〇	一四・〇〇	一四・一〇	
十六日（金）	一三・七〇		一三・七〇	一三・八五	△一三・九五	
十七日（土）	休					

大連銀票

日本金百圓建

十月	十月限	廿八日限
十二日（月）	△四九・三〇	四八・八五
十三日（火）		四九・六五
十四日（水）		四八・九五
十五日（木）		四九・二〇
十六日（金）		
十七日（土）		

大阪期米

一石建

十月	十月限	十一月限	十二月限
十二日（月）	一九・二一	一九・五三	一九・八〇
十三日（火）	一九・二九	一九・六〇	一九・八〇
十四日（水）	一九・二〇	一九・六〇	一九・八〇
十五日（木）	一九・二九	一九・五五	一九・七〇
十六日（金）	一九・〇六	一九・三六	一九・五一
十七日（土）	休		

棉花・綿絲布

ニューヨーク棉花市況

ニューヨーク　十月十七日（土）

フーヴァー大統領の金融機關設立案に伴ひ氣配著しく見直してゐた所へ、更にニューオリンスに於ける聯邦農事局當局及び南部銀行家の會議に於ける暫定的協定成立の報に市況は益々引立つて來た。この協定は相場が十二セント半を超えない限り約六百八十萬俵の棉花を今季末（來年七月末）迄手持せんとするものである。乍然、南部筋の繋ぎ賣りによつて相場の騰貴は阻止され、買ひ手は押目にボツボツ買つてゐるに過ぎない。

棉産地の天候は初め稍々不良で、西部産地には驟雨及び豪雨を見たがその後見直してゐる。

一方仲買商筋は買ひ氣を增大せんとする傾向がある。而して目下棉花が投資買ひの値頃にあるか何うかについては一般に論議されつゝあるが、然し相場の先行に對する確信は增大して來たなほ極東筋は最近盛んに買ひ付けた模樣であり、これに關聯してニューヨークの當業者は目下滿洲の形勢を著しく注意してゐる。

ヘスター氏發表　過去一週間の世界紡績米棉引取高は二十五萬俵、前週は二十八萬七千俵。

リヴァプール米棉在荷は三十五萬三千俵。前週は二十六萬九千俵。

米棉産地天候作柄週報

ニューヨーク　十月十四日（水）

アメリカ農務省發表、十三日（火）を以て終る一週間の米棉産地天候報告の概要左の通り。

△概況　東部産地では天候概して良好なるため摘取り及び繰り上げは進捗してゐるが西部地方の一部では遲れてゐる。

△テキサス　發育と作柄は概して前週と變らなかつたが、最近降雨過多なりしため開果が若干被害を蒙つた所もあつた。天候は大體から見ると良好であつたが、それに拘らず摘取りは先づ普通といふ所であつた。

△オクラホマ　發育及び作柄は普通乃至良好であるが豪雨のため若干被害があつた。棉は殆ど全部開果し摘取り及び繰り上げは順調に進捗してゐる。

△その他の産地　開果良好で殆ど全部開果した。摘取り及び繰上げは概ね順調に進行し、地方によつては完了した所もある。

アメリカ　九月中の米棉統計

ワシントン　十月十四日（水）

アメリカ國勢局發表、九月中の米棉統計（單位千俵、千錘）

	今季累計	昨年同期
消費高	八九〇	七四六
輸出高	五六三	一、二八一
手持高	七七九	九六八
紡績工場	—	—
倉庫荷造所	六、二九七	五、二四八
紡績運轉錘數	二五、三七七	二六、〇八七

（備考）（輸出はリンターを含むもその他は含まず）

	消費高	輸出高	紡績手持	倉庫在荷	運轉錘數
昨年九月	三九四	四五四	九〇九	五、二四八	二六、〇八七
本年一月	四五四	六三八	九六八	七、九三九	二五、七八一
二月	四五四	一、六一三	七、三一四	二五、七六三	
三月	四四一	一、五四八	七、三一四	二五、七六三	
四月	四九一	一、五四八	七、六四三	二六、四九〇	
五月	五〇九	一、三七七	六、〇三四	二六、六四五	
六月	四六六	一、三五八	五、四九四	二六、三九八	
七月	四五五	二六〇	四、九七一	二五、七九九	
八月	四五一	一、一三一	四、五二四	二五、八三六	
九月	四二六	二七〇	四、四二六	二五、六二三	
	四六四	二一六	五、六三	二五、二三七	
		九九五	七、七六	六、二九七	
		八四〇			

アメリカ棉花消費豫想

ニューヨーク　十月十三日（火）

國勢局の九月中のアメリカ棉花消費高は來る十四日發表の筈であるが、ニューヨーク棉花取引所は右の豫想を四十七萬二千俵と發表した。

（備考）國勢局の八月中のアメリカ棉花消費高は四十二萬六千俵、昨年九月は三十九萬四千俵であつた。

アメリカ綿製品市況

ニューヨーク　十月十五日（木）

市況は八月中旬以來不振、生地綿布は原棉安につれて依然軟調を續けた。此結果買ひ手は差當つての必要以上には買はうとはせず、期待された秋の需要增加も實現しなかつた。然しながら氣配は目下著しく好望で、生地綿布の買ひ物は特に活況を呈して居る。一方捺染綿布、シーチング及廣巾綿布も茲六日間のみで三十萬乃至四十萬ヤード賣れた。然も注意すべきは賣り手が現在の値頃では十二月物より先物を賣り應じやうとしない事である。今後二、三週間中には通常九月に起るべき秋の需要が多分到來するものと思はれる。上等綿布は格別見直しの徵向なく、大多數の工場は操業を半減して居る。

アメリカ　九月中の綿布統計

ニューヨーク　十月十三日（火）

アメリカ綿織物組合發表、九月中のアメリカ標準綿布統計左の通り。（單位千ヤード）

	生産高	販賣高	積出高	月末註文殘高	月末在荷高
昨年九月	二七二、二八	二九一、九八〇	二三一、九五五	二八五、四二七	二七一、七〇〇
本年一月	二〇〇、三四九	二三九、一〇〇	二一〇、八〇〇	三一七、五〇〇	二七一、七〇〇
三月	二一一、一六八	二三六、四〇〇	二一四、四〇〇	三〇五、八〇〇	二七一、七〇〇
四月	二七一、六三八	二九五、三〇〇	二一七、一〇〇	二九四、〇〇〇	二七一、七〇〇
五月	二三五、九五五	二三七、七〇〇	二一七、八〇〇	二七三、一〇〇	二七一、七〇〇
六月	二三五、三九二	二六〇、〇〇〇	二一〇、五〇〇	二八一、一〇〇	二七一、七〇〇
七月	二六〇、一六三	三五五、九〇〇	二一七、〇〇〇	二八八、〇〇〇	二七一、七〇〇
八月	一九一、五四五	一五八、〇〇〇	二一七、〇〇〇	二七三、九〇〇	二七一、七〇〇
九月	二〇九、〇五〇	二六七、〇〇〇	二一七、〇〇〇	二七八、〇〇〇	二七一、七〇〇
	二七一、一一八	二七七、七〇〇	二一七、〇〇〇	二七八、〇〇〇	二七一、七〇〇

（備考）過去數ヶ月の統計左の通り。

	生産高	販賣高	積出高	月末註文殘高	月末在荷高
昨年九月	一八二、三八五	二九一、九八〇	二三一、九五五	二八五、四二七	二七一、七〇〇
本年一月	二〇〇、三四九	二三九、一〇〇	二一〇、八〇〇	三一七、五〇〇	二七一、七〇〇
三月	二一一、一六八	二三六、四〇〇	二一四、四〇〇	二九四、〇〇〇	二七一、七〇〇
四月	二七一、六三八	二九五、三〇〇	二一七、一〇〇	二七三、一〇〇	二七一、七〇〇
五月	二三五、九五五	二三七、七〇〇	二一七、八〇〇	二八一、一〇〇	二七一、七〇〇
六月	二三五、三九二	二六〇、〇〇〇	二一〇、五〇〇	二八八、〇〇〇	二七一、七〇〇
七月	二六〇、一六三	三五五、九〇〇	二一七、〇〇〇	二七三、九〇〇	二七一、七〇〇
八月	一九一、五四五	一五八、〇〇〇	二一七、〇〇〇	二七八、〇〇〇	二七一、七〇〇
九月	二〇九、〇五〇	二六七、〇〇〇	二一七、〇〇〇	二七八、〇〇〇	二七一、七〇〇
	二七一、一一八	二七七、七〇〇	二一七、〇〇〇	二七八、〇〇〇	二七一、七〇〇

（備考）右統計はニューヨーク綿織物組合並に綿織物協會の共同調査に依るもので調査範圍はアフリカ標準綿布三百種に亘りアメリカ綿製品界の大勢を一目瞭然たらしめたものである。

アメリカ綿糸布相場

ニューヨーク　十月十七日（土）

△プリント・クロス（巾二七吋、一封度七碼六〇、六四×六〇）南部現物相場（工場渡）一碼に付　二仙　六分九

△二〇手單糸　一六仙

△賣上高　フォルリヴァに於ける過去一週間の綿製品賣上高　二五、〇〇〇ピース

リヴァプール棉花市況

リヴァプール　十月十七日（土）

△現物　各棉とも活潑。

△定期　ニューオリンスの會議に於いて棉花約七百萬俵を棚上げする協定が出來たのと、來年の棉花植付反別が大々的に減らされる模樣なので、氣配は強調を呈した。而して取引は稍々閑散ながらマバラの繋ぎ賣りが容易に消化され、相場は今週中漸騰を示した。尤も本日はアレキサンドリア筋の賣り物で稍々引弛んで居る。

△エヂプト棉　概して頗る手堅い。

マンチエスター　綿糸布市況

マンチエスター　十月十四日（水）

綿布綿糸共に引合は多いが、買ひ手は原棉高を眺めて稍々警戒氣味となつて居る。綿糸の相場は左の通り。

二〇手	八片 — 九片
三〇手	九・ — 一一・
四〇手	九・3/4 — 一一・3/4
六〇手（エヂプト棉）	一四・3/4 — 一六・3/4

マンチエスター　十月十七日（土）

△綿布　原棉の騰貴に拘らず最近各方面から盛に引合がある。然し乍ら指値安く依然商内の增大を阻止してゐる。尤も支那の需要は引續き多く、インドの需要も稍々增加の模樣である。インドの需要は大部分輕目物である。一方他の極東小輸出市場からの商談も增加し、其他の市場も依然買氣を示してゐるが、買手は稍々警戒の模樣である。

△綿糸　米棉綿糸、特に上等物に對する引合は引續き見直しつゝあり、實際の商内も順調である。エヂプト棉綿糸も活氣を增して來た。

イギリス　九月中の綿糸布輸出高

ロンドン　十月十二日（月）

（イギリス商務省發表）

△綿布（千平方碼）

輸出總額	本年累計	昨年同期
印度	二八、〇〇〇	一、二九六、〇〇〇
支那	二、八六四	一、九九五、九六〇
日本	四、四一九	三九六、一七八
歐洲（含イスパ）	二六八	五六、二九八
地中海	一五、一二二	四、三六五
ジヤワ	一六、七九二	一六七、一二七
新嘉坡	三、一〇四	一五、三三三
南米	一、七二八	二八、六〇九
	一五、三九二	二二、九三五
		一三四、六一七

△綿糸（千封度）

輸出總額	本年累計	昨年同期
印度	九、〇〇七	九三、九六六
支那	七六九	八、一一七
日本	四二七	三、〇八一
歐大陸	五、〇八四	五七、七一五

過去六ヶ月間の月別數字左の通り（單位綿布平方碼、綿糸千封度）

	綿布 支那	綿布 インド	綿糸 インド	綿糸 支那
本年四月	三九、一九五	四、六〇八	一、二五一	二一九
五月	三六、一三一	二、七二五	九四九	三六六
六月	三六、〇七六	一、三二一	七二九	三六四
七月	四九、四四二	二、四九四	六三五	四七六
八月	三六、七三一	三、一五五	九六六	四九八
九月	二一、八六四	四、四一九	七六九	四二七

	綿布 地中海	綿布 ジヤワ	綿布 新嘉坡	綿布 南米
本年四月	一四、四三九	二、四九九	一、六四〇	二、九二九
五月	一九、〇四六	三、一七八	一、三一〇	二四、六二四
六月	二四、九四四	二、七六一	一、三四一	二四、五六九
七月	二〇、六三七	三、五七四	二、二四八	九、七九九
八月	二〇、五三四	二、八九三	一、二八三	一五、七四四
九月	一六、七九二	三、一〇四	一、七二八	一五、三九二

イギリス九月中の對日紡織機械輸出高

ロンドン　十月十二日（月）

イギリス商務省發表、九月中にイギリスより日本へ輸出した紡織機械は左の通り（單位トン）

	九月	本年累計
本年累計		六五八
昨年同期		一、二五五
昨年九月		四、四八六
一昨年同		二、六四四

（備考）（單位トン）

	本年五月	六月	七月	八月	九月
昨年九月	六三七	七八	—	一四	六二
本年一月	一〇一	三八	九五	二〇九	六五八
二月	三八	九五			
三月	一四				
四月	二〇九				

ランカシア　聯盟理事會を注視

ロンドン　十月十四日（水）

滿洲に密接なる關係あるロンドンの某大銀行の所報によればマンチエスター綿製品市場では目下國際聯盟理事會に於ける日支紛爭討議の成行を著しく注意してゐる。これは最近激增の傾向にある對支新輸出約定の前途が滿洲問題解決如何に關係する所甚大だからである。同銀行はいふ。

支那に於ける日本製品のボイコットとイギリスの金本位停止でマンチエスターは最近支那向に多額の綿製品賣込み約定を行つた。然るに若し滿洲問題が解決し日本が勢力を盛り返へして來ればランカシアはこの利益を失ふことになる。

九月中のエヂプト棉繰上高

アレキサンドリア　十月十五日（木）

エヂプト政府發表によれば、九月中のエヂプト新棉繰上高は左の通りである。

	一月以降累計	昨年同期
サケル	二〇、四三二	二、〇六九、三七八
スカルト	六、四〇四	二、一五〇、一七二
其他	三四四、七四二	二、〇六九、三七八
合計	三七一、五六八	二、一五〇、一七二

ボンベイ棉花市況

ボンベイ　十月十七日（土）

先物は依然軟り、これは主としてオムラ地方に及び合併州に更に降雨があつたのと、大した賣り物がない爲めである。中央州、西部ベラー及びカンデッシュには降雨の爲め可成り被害があつたが然し天候は今や晴れつゝある。

現物市場に於てはボンベイ紡績の引合良好乍ら、輸出は不味。これはインド棉が米棉に對して尙一割方割高を示してゐる爲めである。

ボンベイ綿糸布相場

十月十七日（土）

晒巾一五〇〇番ライブマン	一四留比八分一
生金巾一〇〇番ファリ	五留比四分三
粗布三〇ヤード龍C	四留比八分一
二〇手綿絲	七アンナ二分一
一〇手綿絲	五アンナ四分一

上海生糸相場

上海　十月十二日（月）

機械糸白各中共通特優格	一、一四〇兩
同　同　普通格	九三〇
同　黃　十四中金象	九五〇
七里糸十四中藍龍飛馬	九二〇
柞蠶糸	三八〇

支那側紡績工場の活況

上海　十月十二日（月）

當地紡績界は一般の不況にも拘らず相當活況を見せてゐたが、今回の排日以來雜貨工場の小さいものは日本から原料が輸入出來ぬため既に七十餘ヶ所の工場が閉鎖されてゐる狀態である。これに反し大紡績工場は一層活況を呈しその經營困難のため今春以來作業を中止してゐた厚生紡績は申新紡績により百七十萬兩で買はれることになつたが、支那條件が現金であるため向ふ五ヶ年間申新紡績の委託經營となつた。右紡績は曩に鐘紡で買取らんとした際工商部より外國人に賣るべからずとの横槍が出て買收出來なかつたものである。因に右紡績は資本二百萬兩紡錘數五萬六百八十八、織機九百二十臺である。

（昭和六年十月十一日——十七日發信）

生絲

ニューヨーク生糸市況

ニューヨーク　十月十五日（木）

市況は無活氣。休日來の鈍狀よりなほ回復しない。買ひ手と賣り手の態度はなほ著しく相違してゐるが、賣り手は或程度以上の割引に應じやうとせず安値の引合は屢々拒絶してゐる。靴下製造業者は引續き買ひ付を行ひ、廣布絹布は疑り、サテンは依然人氣良好である。

△定期市場は閑散。

△レーヨン　氣配見直し。

イギリス九月中の對日生糸、絹織物輸入高

ロンドン　十月十二日（月）

イギリス商務省發表、九月中にイギリスが日本より輸入した生糸及絹織物は左の通り（單位生糸は封度、絹織物は千平方碼）

	生糸	絹織物
昨年九月	五五、一五五	五五九
本年一月	一四五、六一〇	一、一八六
二月	八七、四〇〇	七三
三月	九六、〇〇〇	九二八
四月	七五、〇〇〇	八五七
五月	五二、七〇〇	七七六
六月	二一、三〇〇	六七六
七月	六三、〇〇〇	七七二
八月	二一、六〇〇	七三
九月	一四、一〇〇	四三

本年累計　昨年同期

	生糸	絹織物
生糸	一四二、一〇〇	七八六、七一〇
絹織物	四四三	七、一八四
	四三、二八八	九、二一九

（備考）（單位生糸は封度、絹織物は千平方碼）

油脂

ロンドン油脂市況

ロンドン　十月十日（土）

△亞麻仁　强氣的アルゼンチンの輸出可能量發表により市況見直し。

△亞麻仁油　思惑買增加に因り見直し

△滿洲大豆　市況手堅く、相當の商内が出來た。

△大豆油　賣り物は手控へられてゐる

△菜種　ヨーロッパ品の賣り物減退によりトリア物は騰貴した。然し需要は遲々。

ニューヨーク植物油相場

ニューヨーク　十月十四日（水）

（現物、關稅濟）

亞麻仁油	粗製、紐育	一ガロン	四七仙
	タンク渡		四三仙
菜種油	精製、樽入		四三仙
	紐育甲板渡	同	
棉實油	粗製、紐育	上一封度	三仙八分三
同	上	同	三仙二分一
	タンク渡	同	
大豆油	同太平洋岸	同	六仙
	同太平洋岸	同	六仙
落花生油	東洋品	同	八仙四分一
	粗製	同	三仙
椰子油	錫蘭板	同	六仙
支那桐油	樽入、太平洋岸甲板渡	同	五仙八分七
荏油	同	同	二仙四分一
蓖麻子油	第三號樽入	同	
	紐育甲板渡	上	

（棉實油定期相場は第六頁にあり）

ロンドン大豆油相場

（東洋品バルク積百十二封度）

不變

△滿洲大豆（一トンに付き）

十月十二日（月）輸送中	賣手（賣手値段で出來値）	六磅〇七志二分一	
九月積	賣手（賣手値段で出來値）	六・〇八・四分三	
十月積	賣手（賣手値段で出來値）	六・一〇・	
十月積	賣手	六・一一・四分一	
十三日（火）輸送中	賣手（賣手値段で出來値）	六・〇六・四分一	
九月積	賣手（賣手値段で出來値）	六・〇七・二分一	
十月積	同	六・一〇・	
十四日（水）輸送中	賣手（賣手値段で出來値）	六・〇七・二分一	
九月積	賣手	六・〇八・四分三	
十月積	賣手（賣手値段で出來値）	六・一〇・	
十五日（木）九月積	賣手	六・〇七・二分一	
十月積	同	六・一〇・	
十月積	同	六・一〇・	
十六日（金）九月積	賣手（賣手値段で出來値）	六・〇八・四分三	
十七日（土）輸送中	同	六・一〇・	
九月積	賣手	六・一〇・	
十月積	賣手（賣手値段で出來値）	六・一一・四分一	
十一月積	同	六・一一・四分一	

△トリヤ菜種（CIFロンドン）

十月十二日（月）十一、十二月積	賣手（賣手値段で出來値）	一〇磅	四分三
十三日（火）同	賣手	一〇・	十六分九
十四日（水）同	賣手	一一・	
十五日（木）同	同	一一・	
十六日（金）同	同	一一・	
十七日（土）同	同	一一・	

ハルビン豆粕相場

△市中相場邦貨換算（f.o.b.浦塩渡百斤建）

十月十二日（月）十月渡	出來値	一圓八七錢
十三日（火）同	不立	—
十四日（水）同	買手見當	一圓九九錢
十五日（木）同	出來値	一圓八八錢
十六日（金）十月渡	中値	一圓九一錢
十七日（土）同	休	—

大連三品出來高

（大連重要物產取引所定期賣買出來高）（單位大豆油百磅大豆一車、豆粕千枚）

	豆油	大豆	豆粕
十月十二日（月）	四四〇	四七一	一三七

砂糖

ニューヨーク砂糖市況

ニューヨーク　十月十七日（土）

△粗糖　不活潑。今週の市中賣買出來高はキューバ糖七萬袋。市況は初め手堅かつたが、その後引弛んだ。然し安値に於ても大して買ひ氣を惹かなかつた。新糖出廻りが始まる迄精糖會社の買ひ付に對して供給は十分であると觀られてゐる。然し乍ら在荷は資金の豊富な手筋に握られて居り、且つ來年のキューバ糖生產高も本年末の持越高だけ減らされるものと一般に豫期されてゐるから、これ等の砂糖は餘り市場を壓迫しないであらう。一方買ひ手もたゞ當座の必要品を買ひ付けてゐるに過ぎないから無稅糖新糖の出廻りが增大する迄は形勢は餘り變らないであらう無稅糖は稍頭重である。

△精製糖　目下の會社の賣り値は四セント六〇で前週と保合。

十三日（火）	三七五	三一三	七九
十四日（水）	三一五	三三六	四六
十五日（木）	二九〇	二六八	六五
十六日（金）	一九五	二一四	—
十七日（土）	休	—	—

ロンドン砂糖市況

ロンドン　十月十七日（土）

商内は目下極めて少い。

△粗糖　取引はホンのボツボツ。然しながら特記すべきは最近ロシアがインドに對しクリスタル（Crystal）物十、十一月渡CIF百十二封度に付七シル十ペンス半以內で賣つた事である。

△精製糖　相場不變ながら需要閑散。

△定期粗糖　初め疑り、後引弛み。之は買ひ物薄と大陸糖の賣り物增加の徵ある爲である。週末の市況は閑散ながら手堅い。

イギリス九月中の砂糖消費高

ロンドン　十月十七日（土）

イギリス商務省の發表によれば、九月中のイギリス砂糖消費高は左の通り。

	本年九月	昨年九月
粗糖	一七、九九九トン	三三四、八二七トン
精糖	四、六二〇	七、一四〇
合計	一八二、六四九	二四一、九八七

（備考）一月以降九ケ月間の消費累計は百四十九萬五千八百三十三トンとなる。過去の比較は左の通り。

一九二七年一——九月	一、一七五、〇三六トン
二八同	一、三七七、九五一
二九同	一、五八六、九二九
三〇同	一、六〇〇、九一九
三一同	一、四九五、八三五

ジャワ九月中の砂糖輸出高

スラバヤ　十月十二日（月）

（單位千トン、一トンは千キログラム）

	昨年	五月以降累計	同期同
スエズ以西諸國	一・七	二・〇	三・〇
インド	三五・五	一九五・〇	四二〇・七
香港	二六・八	一四八・四	一四五・五
支那	一七・七	五三・七	六八・三
日本（含臺灣）	九・七	九・一	九・九
其他諸國	一五・七	九九・九	一二五・七
合計	一〇九・一	五九八・一	八四・二

（備考）（單位千トン）

スエズ以西	昨年九月	〇・一	一三三・四
	本年四月	〇・一	三二・三
	五月	〇・一	一・四・五
	六月	—	五四・六
	七月	〇・一	三三・一
	八月	〇・一	五六・〇
	九月	一・七	三五・五
日本	昨年九月	三四・六	二九・六
	本年四月	三三・三	二二・三
	五月	六八・六	一〇・三
	六月	九・九	一七・〇
	七月	八・〇	二九・九
	八月	二六・九	二六・九
	九月	三三・九	二〇・〇
その他		九・七	一五・七
合計		二三三・一	一〇九・一

自五月至九月ジャワ糖荷動統計

スラバヤ　十月十二日（月）

（單位トン、一トン千キログラム）

	本年	前年同期
輸出港出廻高	一、九五六、六〇〇	二、六三五、六四一
內訳 トラスト品	二、二六四、一〇〇	二、四〇六、九五六
工場品	三一〇、〇〇〇	三八、六八五
加盟外工場品	五九八、〇〇〇	八三七、二七二
輸出高	一七五、〇〇〇	一七五、〇〇〇
島內消費高	二、三一〇、〇〇〇	一、七一一、二六二
輸出港在荷	二、四三九、四〇〇	一、八五〇、〇七七
輸出可能量（自十月至明年四月迄）		

小麥

シカゴ小麥市況

シカゴ　十月十七日（土）

利喰ひ賣りに拘らず相場は更に昂騰これは左の原因によつて買ひ方が新に買ひ進んだためである。

一、ヨーロッパ及び東洋より北アメリカ小麥に對し多額の需要あること。

一、外國市場、就中ブエノスアイレス及びウキニペッグの强調。

一、ロシアの輸出可能量減退の報あること。

一方市場は滿洲事變の及ぼすべき好影響について過度の期待を持ちつつありといふものも一部にはあるが、然し日支關係の紛糾が市況强調の一因を爲してゐることは勿論である。而して市場は目下その形勢の推移を注目しつゝある。

政府の發表によればアメリカの新麥植付反別は一割二分以上の減少を示すべしとの事である。一方目下の豫想ではロシアの輸出も七千五百萬ブッセルを超過しないであらう。昨年のロシアの輸出高は九千七百萬ブッセルであつた。

他方仲買商の意見は最近餘り强氣的でない。而して左の如く述べてゐる。

ヨーロッパの需要は最近の買付により今後減退するであらう。又極東の形勢も以前程重大でない樣である。且つ仕手關係による反動も近く來らんとする情勢にある。

リヴアプール小麥市況

リヴアプール　十月十七日（土）

ヨーロッパ品の賣り物あるに拘らず市況依然疑り、取引も稍々活潑である

ゴム

ロンドン・ゴム市況

ロンドン　十月十七日（土）

市況は初めアメリカ及東洋高を移して强調であつたが、其後買ひ物薄で引弛んだ。尤も最近再び東洋高を移して賣り手は手控への態度をとつて居るが需要は依然少い。アメリカの九月中のゴム消費高は殆んど影響せず、市場は目下無材料の態である。

アメリカ九月中のゴム需給統計

ニューヨーク　十月十五日（木）

九月中のアメリカ・ゴム需給統計（アメリカ・ゴム協會調査、單位トン）

輸入高	四〇、五〇〇	三五八、〇〇〇	三七八、〇〇〇
消費高	二三、八〇〇	二八二、三〇〇	三〇五、七〇〇
月末在荷高	二五四、三〇〇	—	一六九、六〇〇
米國向輸送中	六二、四〇〇	—	六〇、九〇〇
再製ゴム消費高	八、九〇〇	一〇六、八〇〇	一三一、〇〇〇

最近數ケ月の數字左の通り（單位千トン）

	輸入高	消費高	月末在荷高	米國向輸送中	再製ゴム消費高
昨年九月	三九・五	二五・三	一六九・六	六〇・九	一〇・五
本年一月	三七・一	二八・六	二〇九・五	五六・二	一〇・七
二月	三六・六	二八・八	二一一・八	六三・七	一〇・三
三月	四〇・三	三三・八	二一七・八	六三・一	一五・二
四月	四六・六	三三・三	二一八・四	五六・七	一一・七
五月	三一・七	三七・八	二一〇・八	七三・六	一三・一
六月	四五・八	三七・九	二二五・五	六九・四	一三・〇
七月	四一・〇	三一・九	二三四・八	六六・九	一一・四
八月	三八・四	二七・四	二四〇・八	六一・五	一一・五
九月	四〇・五	二三・六	二五四・三	六二・四	八・九

シンガポール競賣成績

シンガポール　十月十四日（水）

		前週
△賣出高		七六六噸
△賣上高		六一四噸
▲競賣相場（最高値、一封度に付）		
クレープ（グッドボール）	六五三噸	九仙四分一
シート（グッドアベレーヂ・クオリティ・リブト・スモークド）	五七七噸	九仙八分一

船舶

ロンドン海運市況

ロンドン　十月十三日（火）

市況は初め若干活氣を呈してゐたが、其後稍々閑散となつた。主なる成約運賃左の通り。

サンロレンゾ＝イギリス、アーブル、ハンブルグ　雜穀　七、〇〇〇噸　十一月積　一八志半

サンロレンゾ＝ノールウエー南部諸港（含デンマーク）　雜穀　五、五〇〇噸　十月下旬積　三志

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸　雜穀　七、〇〇〇噸　一、二月積　一九志

ヴアンクーヴア＝イギリス、歐大陸　雜穀　七、五〇〇噸　十、十一月積　三志

西オーストラリア＝イギリス、歐大陸、地中海　雜穀　七、六〇〇噸　十二、一月積　三〇志

西オーストラリア＝イギリス、歐大陸、地中海　雜穀　七、〇〇〇噸　十二月積　二九志半

ポートランド、ピューセット・サウンド＝上海　小麥粉　六、〇〇〇噸　十月末積　三弗二五仙

ボンベイ、カラチ、モルムーゴン＝地中海東岸、イギリス、歐大陸　一般貨物　七、六〇〇噸　十一月積　三志

ラングーン＝キューバ　米　五、五〇〇噸　十、十一月積　二七志1/4

（昭和六年十月十一日——十七日發信）

米國汽船會社 船舶院の船を共同經營

サンフランシスコ 十月十三日(水)

ハーバート・ハッカー氏、ロバート・ダラー氏、スタンリー・ダラー氏、カーミッド・ルーズヴェルト氏、ジョン・フランクリン氏等のアメリカ銀行家、太平、大西兩洋船舶業者は去る八日以來當地に於てユーナイテッド・ステイツラインの共同經營案を審議中であつたが、愈本日最終提案を採擇して散會した。この提案はダラー・ドーソン、チャツマン、インターナショナル・マリイン及びルーズヴェルト各汽船會社がユーナイテッド・ステーツライン（米國船舶院の船舶）を共同經營するもので、この中には沿岸貿易を含む營業協定も含まれることになつてゐる。提案の内容は船舶院の承認を得る迄發表されないが右團體の一代辯者は最終提案は前記の團體によつてユーナイテッド・ステイツラインを共同經營することを目的にしたものであると語つた。これによつて得た收入はプールされるものといはれてゐるが、前記各汽船會社の合併が議せられたとの說は否定された。

陽南丸の沈沒

サンフランシスコ 十月十六日(金)

神戸の日本共同汽船會社所有船陽南丸（七、一五四トン）は十六日北緯五十度二十四分、東經百七十九度四十分の洋上で遭難中とのSOSの無電を發してゐるのが當地で傍受された。而して同船より八十哩の距離にあるプレシデント・デフアーソン號は目下陽南丸遭難現場に急航中で、同號よりの報告によれば陽南丸の甲板上に積んだ材木は激浪のため洗ひ流され、且つ浸水甚だしきため陽南丸は刻々沈沒しつゝあると。

アメリカ 八月中の對支輸出額

ワシントン 十月九日(金)

アメリカ商務省發表、八月中のアメリカ對支輸出額は左の通り。（單位千ドル）

	本年累計	昨年同期
支那本土へ	五、〇〇七	五、二一一
香港へ	一、二〇七	一〇、七五三
關東州へ	一、一五七	四、六四六
總計	七、七七八	七三、六三〇

（備考）過去數ヶ月の月別數字左の通り。（單位千ドル）

	支那本土へ	香港へ	關東州へ	總計
昨年八月	五、五五〇	七、三五三	五七〇	七、三五三
本年一月	一、二三三	一、三三六	一四六	一、三三六
二月	五、九二二	一、三二六	一、二六	一、二六
三月	五、八九九	一、二七七	七、一八二	一、二七七
四月	四、四八七	一、二一〇	一九〇	一、二一〇
五月	五、四九四	八三〇	一三一	八三〇
六月	七、四〇一	二八九	二八	二八九
七月	七、五三五	一、〇八一	二六一	一、〇八一
八月	六、九五六	一、六三五	三一八	一、六三五
	六、三六四	一、二〇七	八、八九九	一、二〇七

イギリス九月中の對支主要商品輸出高

ロンドン 十月十二日(月)

イギリス商務省發表、九月中のイギリス對支主要商品輸出高左の如し。（單位鍼力トン、綿糸千封度、綿布毛織物千平方碼）

	本年累計	昨年同期
鍼力	一、六〇〇	三、一四五九
綿糸	四二七	一、五六二
綿布	四、四一九	五〇、七八七
毛織物	一、一七六	六、〇三五

（備考）過去の月別數字は左の如し。

	鍼力	綿糸	綿布	毛織物
昨年九月	二、〇五四	一三八	一、九〇六	一、一六二
本年一月	二、六三九	二五八	一四、六八六	一、四五八
二月	一、八〇〇	二四六	一五、四一三	一、一三七
三月	二、一〇〇	二〇七	七、五六七	四四五
四月	一、四〇〇	二一九	四、六〇八	一三三
五月	一、八〇〇	三六六	二、七三五	一五二
六月	一、三〇〇	三六四	一、二二一	三六六
七月	一、八〇〇	四七六	二、四九四	八二四
八月	二、一〇〇	四九八	三、一五五	一、三八二
九月	一、六〇〇	四二七	四、四一九	一、一七六

インド九月末 卸賣物價指數

カルカッタ 十月十三日(火)

インド統計省發表、九月末のインド卸賣物價指數は九一である。これを過去十二ヶ年同期並に最近十二ヶ月と比較すれば左の如し。

過去十二ヶ年		最近十二ヶ月	
一九一五年平均	三三	昨年九月	一一
二〇年九月	二〇八	十月	一〇八
二一年同	一八七	十一月	一〇四
二二年同	一七六	十二月	一〇一
二三年同	一七四	本年一月	九八
二四年同	一七九	二月	九九
二五年同	一五五	三月	一〇〇
二六年同	一四六	四月	九八
二七年同	一四〇	五月	九七
二八年同	一四二	六月	九三
二九年同	一四三	七月	九三
三〇年同	一一一	八月	九三
三一年同	九一	九月	九一

（備考）右は商品七十五種の卸賣値段につきインド統計省が調査算出したものである。基準は大戰開始當時即ち一九一四年七月末を一〇〇としてある。

週統計

アメリカ 聯邦準備銀行週報

ワシントン 十月十五日(木)

▲十月十四日現在（單位百萬ドル）

△資産總額 昨年同期 五、九二六

内支拂準備額 二、九九四 三、一二六

内金準備 二、八三六 二、九五九

内、聯邦準備券に對する準備 一、七一一 一、五八一

金以外の準備 一五八 一四七

準備外現金 二、一〇四 五六

手形及證券 一、〇〇四 七〇四

其他資産 七〇四 九〇九

△負債總額 五、九二六 五、一〇五

内聯邦準備券流通高 二、三三二 一、三七一

預金 二、五二九 二、四九一

内、加盟銀行準備勘定 二、二三三 二、四〇四

政府預金 二七 二四

外國銀行預金 三三一 五

其他預金 三七 三三

支拂準備額の聯邦準備券及預金に對する割合 六一%八 八〇%九

△最近數週統計

	支拂準備額	準備券流通高	預金高
九月卅日	三、三〇一	二、〇九八	二、五〇六
十月七日	三、一九三	二、一七〇	二、四八六
十四日	三、三三三	二、一九四	二、五一九

イングランド 銀行週報

ロンドン 十月十五日(木)

▲十月十四日現在（單位千ポンド）

		前年同期	前々年同期
公金預金	一四、四〇〇	一三、三九七	九、五五一
其他預金	二二、一〇〇	一〇、一二三	一〇、〇〇一
政府證券	五七、六〇〇	四二、三〇一	七六、〇七七
其他證券	四〇、九〇〇	二八、〇一〇	二五、四六〇
紙幣及金銀貨	五五、〇〇〇	六一、九六一	三一、六八八
金地金在高	一三六、七〇〇	一五九、〇三一	一三、九三三
英蘭銀行券流通高	三五六、七〇〇	三五四、五二八	三六〇、二四五
預金準備割合	四〇%五一	五五%八〇	二八%〇四

△最近數週統計（單位十萬ポンド）

	諸預金	諸證券	準備金	金地金	銀行券流通高
九月卅日	一二五、三	一〇九、六	五四、〇	一三六、二	三五七、二
十月七日	一四一、三	一〇六、七	五二、二	一三六、六	三五九、三
十四日	一三五、八	九八、五	五五、〇	一三六、七	三五六、七

イギリス 金銀塊輸出入額

▲十月十四日迄一週間（單位千ポンド）

△輸出

金塊	一、七〇〇	（右内七十萬七千磅は自九月十七日至九月廿一日の間に積出したるもの）
		フランスへ 五〇〇
		オーストリーへ 四〇
		ドイツへ 三一
銀塊	二七	

△輸入

金塊	一、六三五	アフリカより 一、五〇一
		ニュージランドより 四五五
		海峽植民地より 二六
		オランダより 二五
銀塊	一五五	アフリカより 一〇七
		アメリカより 二二

▲一月以降金輸出入額累計

	本年累計	昨年同期	一昨年同期
輸入	六九、三一五	六三、三〇一	三九、七四三
輸出	八六、六二〇	五四、四七〇	六六、六八七
内アメリカ	五三〇	—	二二、五九六
インド	二〇三	一、四九〇	一、八一七

△最近數週金統計

	輸入	輸出	内對米	對印
九月卅日	一、二四〇	五〇〇	二一一	—
十月七日	二、〇一八	七二七	—	—
十四日	一、六三五	一、七〇〇	—	—

ロンドン正貨積出高

ロンドン 十月十六日(金)

今週は正貨の積出はなかつた。

インド政府通貨週報

カルカッタ 十月廿四日(土)

▲十月十五日現在（單位十萬ルーピー）

		前年同期	前々年同期
紙幣流通高		一五、八七三	一七、二八七
銀塊銀貨	在印	一三、一四九	一二、二七四
	在外	—	—
金塊金貨	在印	四二八	三、三三八
	在外	—	—
證券	印度政府	二、一九五	三、九一七
	英國政府	一、五八二	二五六
爲替手形		一〇〇	—

△最近數週統計

	紙幣流通高	在印金銀	政府證券
九月卅日	一四、八七三	四三〇	九四八
十月七日	一五、三九三	四三〇	一五二七
十五日	一五、八七三	四二八	二、一九五

フランス銀行週報

▲十月九日現在（單位百萬フラン）

		前年同期
金準備高	六〇、五三九	四九、四四八
紙幣發行高	八一、八四七	七三、九六八

△最近數週統計

	金準備高	紙幣發行高
九月廿五日	五九、三四六	七八、一七三
十月二日	五九、八一四	八一、五一四
九日	六〇、五三九	八一、八四七

ドイツ ライヒス銀行週報

▲十月十五日現在（單位百萬マルク）

		昨年同期
兌換準備 金	一、一五六	二、一八〇
外國爲替	一三八	一七四
紙幣流通高	四、五二七	四、一八九

△最近數週統計

	兌換準備 金	外國爲替	紙幣流通高
九月廿日	一、三〇一	一三九	四、六〇九
十月七日	一、二一九	一三二	四、五二三
十五日	一、一五六	一三八	四、五二七

上海銀塊在荷高

上海 十月十六日(金)

▲十月十五日現在

		昨年同期
上海市中總在荷高	六三、三〇六千兩	一〇三、一六一千兩
	一六九、六三〇千弗	一九、四二〇千弗
	七六六本	二、五一一本
内支那銀行手持高	二八、〇一〇千兩	三五、三八〇千兩
	一四九、九五〇千弗	二二、六三〇千弗
	六六八本	五九二本

△最近數週統計（上海總在荷高）

			本
十月一日	六六、五二六	一七〇、四八〇 千弗	八七六
八日	六四、一九四	一六九、〇五〇	九一四
十五日	六三、三〇六	一六九、〇五〇	七六六

アメリカ棉花統計

ニューヨーク 十月十六日(金)

▲ニューヨーク綿花取引所發表（本年八月一日より累計、單位千俵）

	今季累計	昨年同期
出廻高	三、九五三	五、〇七六
米國紡績引渡高	一、〇二四	九八四
輸出高	一、一一七	一、八〇一
内日本	二七六	二三三
支那	一九八	七一
英國	九三	二五六
ドイツ	二三九	六〇七
ニューヨーク在荷	二三〇	二三九
アメリカ在荷	五、四一一	四、〇〇九
各國棉世界在荷	八、六五三	七、八六三
内米棉	六、八九三	六、一二一
世界各國紡績米棉引渡高	二、一七五	二、〇三二

▲注意 出廻高及び紡績引渡高にはリンターを含まず。他はリント及びリンターの合計。

△最近數週統計

	出廻高	引渡高	輸出高	内日本	米國在荷高
十月二日	六九三	一三〇	二六一	七〇	四、二六三
九日	九一五	二〇九	九五	二八	四、八七六
十六日	八四三	一三六	一七九	一五	五、四一一

エヂプト棉花統計

アレキサンドリヤ 十月十六日(金)

▲アレキサンドリヤ一般取引所發表（本年九月一日より累計、單位千カンター）

		前年同期	前々年同期
入荷高	一、一一三	一、三九四	五六八
輸出高	五三三	四、〇五二	二、〇六一
在荷高	四、〇三三		

△最近數週統計

	入荷高	輸出高	在荷高
十月一日	一四八	七二	四、一四三
八日	二三〇	七二	四、三〇一
十五日	三三六	九四	四、三三四

ボンベイ棉花統計

ボンベイ 十月十七日(土)

▲ボンベイ棉花取引所發表（本年九月一日より累計、單位千俵）

		前年同期	前々年同期
入荷高	四、六〇九		
輸出高	四、五二三		
在荷高	四、五二七		

△最近數週統計

	入荷高	輸出高	在荷高
十月一日	一四八	七二	四、一四三
八日	二三〇	七二	四、三〇一
十五日	三三六	九四	四、三三四

歐洲 支那 日本 其他 計 在荷高 最近數週統計

	入荷高	輸出高 歐洲	支那	日本	其他	計	在荷高
十月一日	五三〇	七〇	三〇	四一	一三〇	二六五	八五
八日	八六	六六	五二	六	四九二	四五七	七五
十五日	七二	三六	八二	二			八四
		四九二	二六	七			六六八

キューバ砂糖統計

ニューヨーク 十月十六日(金)

▲ウヰレットグレー商會 十月十三日調査

		昨年同期
△新糖（單位トン）		—
作業中工場		—
生産高	三、三三、一〇〇	四、六七一、二六〇
キューバ消費高	一一六、〇〇〇	一一九、〇〇〇
輸出港入荷高	一、八七三、八〇〇	三、三一一、二四〇
輸出高	一、一八七、四〇〇	二、三三三、三〇一
製糖工場及鐵道輸送中在荷	一、一三一、四〇〇	一、二四一、〇二〇
輸出港在荷	六八六、一〇〇	一、〇八八、九三八
△舊糖		
輸出港在荷	四一三、一〇〇	—

△最近數週統計（單位百トン）

	作業工場	生産高	入荷高	輸出高	輸出港在荷高
九月廿九日	—	—	三三一	五六七	七、〇二八
十月六日	—	—	三〇一	三〇七	七、〇二四
十三日	—	—	一八四	三四六	六、八六一

イギリス・ゴム統計

ロンドン 十月十二日(月)

▲ロンドン・ゴム協會發表（單位トン）

		本年累計	昨年同期
入荷	高	五五、四八三	八四、四七七
引取	高	五二、八二三	五六、四九二
在荷	高	—	八二、二五四

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
九月廿六日	一、〇七五	二、〇六八	八〇、〇五五
十月三日	一、〇〇五	一、八一四	七九、二四六
十日	九〇七	一、〇八八	七八、七三五

△週末在荷民間豫想 十月十六日(金) 一五〇トン增

リヴアプール 十月十二日(月)

▲リヴアプール十月十日現在（單位トン）

		本年累計	昨年同期
入荷	高	一、一七三	三五、二〇四
引取	高	三三二	二〇、二七九
在荷	高	五五、五一八	—

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
九月廿六日	八八	三三三	二九、一〇八二
十月三日	三三三	三三四	二七、二四四
十日	一、一七三	三三三	五五、五一八

△週末在荷民間豫想 十月十六日(金) 二五〇トン減

○本誌定價、半ヶ年＝廿六週分＝郵稅共金貳拾圓

發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社

電話本局二二〇〇番三八四〇番 振替貯金口座大阪六八〇〇〇番

編輯發行兼印刷人 岩本清